

ELECOM

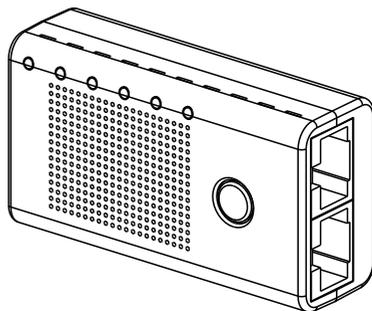
Broadband Router

無線LAN ポータブルルーター

WRH-583xx2 シリーズ

User's Manual

このマニュアルは、付属の「設定手順書①」
「設定手順書②」とあわせてお読みください。



エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線 LAN ポータブルルーター「WRH-583xx2 シリーズ」を「本製品」と表記しています。
11ac/11a/11n/ 11g/11b	IEEE802.11ac 規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G) 規格を「11n」、IEEE802.11a 規格を「11a」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
11n/11g/11b	11n (2.4GHz 帯) / 11g / 11b の略です。
11ac/11an	11a / 11n (5GHz 帯) / 11ac の略です。
無線 LAN ルーター	無線 LAN ブロードバンドルーターを略して「無線 LAN ルーター」と表記しています。
無線 AP	「無線 LAN アクセスポイント」のことを略して「無線 AP」と表記しています。
無線親機	無線 LAN ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線 LAN 子機	無線 LAN 機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線 LAN 子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線 LAN 子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線 LAN 機能または有線 LAN アダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
 注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
 MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- iPad、iPod touch は、Apple Inc. の商標です。
- Android、Android ロゴは Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品は、GNU General Public License に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License の条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思われませんが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。
- 詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。
- そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTM は省略させていただきました。

ELECOM

無線LAN ポータブルルーター

WRH-583xx2 シリーズ

詳細説明書

はじめに

この度は、エレコム製の無線LAN ポータブルルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みにになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

安全にお使いいただくために

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用の前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

	丸に斜線のマークは何か禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸マークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

 **警 告****万一、異常が発生したとき。**

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

**異物を入れないでください。**

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

**落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。**

感電、火災、故障の原因となります。

**水気が多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。**

感電、火災の原因となります。

**分解しないでください。**

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

 **注 意**

通気孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離れてご使用ください。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえで、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
 - 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用すること
- これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために…………… 4

Chapter 1 概要編

1	製品の保証について……………	10
2	サポートサービスについて……………	11
3	本製品の概要について……………	12
	本製品の特長……………	12
	本製品の動作環境……………	13
4	各部の名称とはたらき……………	14
5	設定ユーティリティについて……………	15
6	セットアップを始める前に……………	16
	接続事業者との契約状況を確認する……………	16
	ブロードバンドモデムのタイプについて……………	17
	設定に必要なプロバイダー情報を用意する……………	17

Chapter 2 導入編

1	セットアップの流れ……………	20
	ホテルで使用する場合……………	20
	ご自宅で使用する場合……………	21
2	ホテルで使用する……………	23
3	ご自宅で使用する……………	26
	インターネット接続のタイプについて……………	26
	設定ユーティリティを表示する……………	28
4	無線LANで接続する……………	30
	はじめにご確認ください……………	30
	WPS ボタンを使って接続する……………	31
	PIN コードを入力して接続する……………	33
	手動設定で接続する……………	35
	iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) を接続する……………	37
	Android スマートフォン/タブレットを接続する……………	41
5	APモードで設定ユーティリティにアクセスする……………	44
6	無線子機(コンバーター)モードを使う……………	47
	無線子機(コンバーター)モードの設定方法……………	47
	WPS ボタンがルーターについてない場合の接続方法……………	49
7	中継器(リピーター)モードを使う……………	52
	中継器モードに変更する……………	52
	無線親機にアクセスする……………	55
	無線中継器と接続する……………	57
	中継器モードでの設定メニューについて……………	58
	中継器モードの注意点……………	58

Chapter 3 詳細設定編

1	設定ユーティリティ画面について……………	60
	設定ユーティリティ画面を表示する……………	60
	設定ユーティリティ画面の内容……………	61
2	インターネット接続……………	62
	インターネット接続設定ウィザードでセットアップする……………	62
3	モード変更……………	66
	動作モードを切り替える……………	66
4	無線設定……………	67
	基本設定画面……………	67
	アクセスコントロール画面……………	69
	WPS 設定画面……………	71
5	セキュリティを設定する(暗号化設定)……………	72
	WEP の設定……………	73
	WPA-PSK/WPA2-PSK の設定……………	77
6	インターネット設定……………	80
	LAN 設定画面……………	80
	固定 DHCP 設定画面……………	82
	WAN 設定画面……………	84
7	システム設定……………	89
	ステータス画面……………	89
	ファームウェア更新画面……………	92
	設定保存と復元画面……………	100
	パスワード設定画面……………	102

Appendix 付録編

1	こんなときは……………	104
2	パソコンのIPアドレスの確認方法……………	107
	パソコンのIPアドレスを表示する……………	107
3	主な仕様と工場出荷時の設定……………	112

Chapter 1



概要編

1

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品の保証規定については、付属の「取扱説明書②」をご覧ください。

お買い上げ時のレシートもしくは保証シールを、「取扱説明書②」の該当欄に貼り付けて保管してください。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎた後の修理は有料になります。詳細については本製品のパッケージに記載されている保証規定をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、本製品のパッケージに記載されている保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P11「2 サポートサービスについて」をお読みください。

2

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00 (祝日営業)

※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。

This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ インターネットに関するプロバイダー契約の書類
- ・ ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3

本製品の概要について

本製品の特長

●正式版「IEEE802.11ac」に準拠

正式に承認された無線規格「IEEE802.11ac」に準拠し、最大433Mbps（理論値）の高速Wi-Fi通信を実現します。IEEE802.11aや11n（5G）と同じ電波干渉の少ない5GHz帯を使用するため、電波干渉の影響を受けやすい11n/b/g（2.4GHz帯）に比べて、場所を選ばず高速通信が可能になります。

●5GHz、2.4GHz 周波数帯対応

電波干渉に強い5GHz 周波数帯、汎用性が高い2.4GHz 周波数帯の両帯域を利用することができます。

●付属のACアダプターから電源供給（WRH-583xx2シリーズ）

付属のACアダプターから電源を給電することもできます。

●付属のUSBケーブルから電源供給（WRH-583xx2-Sシリーズ）

付属のmicroUSB（microB-A）ケーブル＋別売の電源供給アダプターから電源を給電することができます。

●無線親機に接続するための簡単設定アプリ「QR link」（無料）をご用意

無線親機に接続するための専用設定アプリ「QR link」をご用意（AppStore（iOS）またはGooglePlay（Android）ダウンロードする必要があります）。

専用アプリを使用することで、簡単にスマートフォンやタブレットとWi-Fi接続することができます。

※ iOS 端末は、iOS4.0以降かつカメラ付きモデルに対応。Android 端末は、Ver.2.1以降かつカメラ付きモデルに対応。（オートフォーカス機能のあるカメラ搭載端末を推奨します。）

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品側面のWPSボタンまたは設定ユーティリティ画面上のWPS実行ボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線LAN接続を簡単に完了できます。

●各種無線セキュリティ機能に対応

WPA-PSK/WPA2-PSKに対応しています。WPA/WPA2では、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントの

MAC アドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

●「APモード」搭載

ケーブルテレビモデム、ONU、CTUなどの終端装置にルーター機能が内蔵されている場合に、本製品のルーター機能をオフにできるAPモードを装備しています。

●子機モード(コンバーターモード)と中継器モード(リピーターモード)を搭載

本製品を接続することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができる「子機モード(コンバーターモード)」と、本製品を中継器として使用することで、電波の届きにくい場所でも無線電波を中継して通信範囲をより広く使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」を搭載しています。

●Web ブラウザーベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWeb ブラウザー上から、本体に内蔵されたWeb ベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Web ブラウザーからの解りやすいメニューで操作できます。

●その他多彩なルーター機能を装備

- ・「DHCP サーバー機能」を搭載し、パソコン側のIPアドレス設定などが不要
- ・ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- ・設定内容のバックアップ/復元が可能

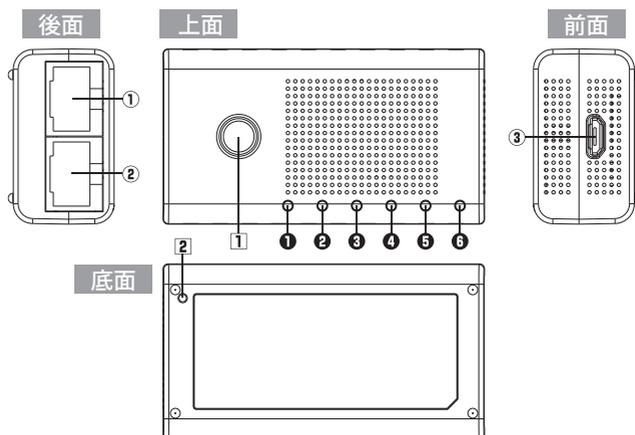
本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 10/8.1/8/7/Vista/XP を搭載するWindows マシン Mac OS X (10.10/10.9/10.8/10.7/10.6) をインストールした Intel 製CPU を搭載したMac
対応ブラウザ (Web 設定ユーティリティ)	Internet Explorer 5.5 以降、Safari 6.0.3 以降

4

各部の名称とはたらき



①	LAN ポート(黒色)	本製品とパソコンをLAN ケーブルで接続します。 パソコンから本製品の設定を変更する際にも使用します。	
②	INTERNETポート(青色)	本製品とホテルのLAN 端子をLAN ケーブルで接続します。	
③	電源ジャック (DC IN) (microUSB)	AC アダプターまたはUSB (microB-A) ケーブルからのUSB 給電により 電源供給を行います。	
①	LAN ランプ(青色)	点灯・点滅	パソコン側と有線接続中
		消灯	パソコン側と有線未接続の状態
②	WAN ランプ(青色)	点灯・点滅	WAN 側と接続中
		消灯	WAN 側と未接続の状態
③	WPS/Reset ランプ (赤色)	点灯	リセット機能が起動
		点滅	WPS 機能が動作中
		消灯	通常時
④	2.4GWLAN ランプ (青色)	点灯・点滅	2.4GHz 無線側と接続中
		消灯	2.4GHz 無線がオフまたは未接続の状態
⑤	5GWLAN ランプ (青色)	点灯・点滅	5GHz 無線側と接続中
		消灯	5GHz 無線がオフまたは未接続の状態
⑥	PWR ランプ(青色)	点灯	電源が入った状態
		消灯	電源がオフの状態
①	WPS ボタン	約5秒押しすと、WPS 機能が起動	
②	Reset ボタン	10秒以上押しすと、リセット機能が起動	

5

設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザーから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

MEMO

設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWeb ブラウザーで表示するには、本製品とパソコンを有線LAN で接続する必要があります。

設定ユーティリティの表示方法

P50「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。

ELECOM		ルーターモードで動作中												
WRH-583xx2シリーズ		ステータス												
設定メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ インターネット接続 ▶ 動作モード設定 ▶ 無線設定 ▶ WAN&LAN設定 ▶ LED省電力設定 ▶ システム設定 	本製品のシステム情報を表示します。												
言語設定	日本語 ▾	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">システム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>稼働時間</td><td>0日 00時 03分 55秒</td></tr> <tr><td>ファームウェアバージョン</td><td>V1.00</td></tr> <tr><td>動作モード</td><td>ルーターモード</td></tr> <tr><td>設定時刻</td><td>2018年10月2日 16時32分00秒</td></tr> </tbody> </table>	システム		稼働時間	0日 00時 03分 55秒	ファームウェアバージョン	V1.00	動作モード	ルーターモード	設定時刻	2018年10月2日 16時32分00秒		
システム														
稼働時間	0日 00時 03分 55秒													
ファームウェアバージョン	V1.00													
動作モード	ルーターモード													
設定時刻	2018年10月2日 16時32分00秒													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">WAN設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>IPアドレス</td><td>192.168.1.16</td></tr> <tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr> <tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>192.168.1.100</td></tr> <tr><td>DNSサーバー</td><td></td></tr> </tbody> </table>	WAN設定		IPアドレス	192.168.1.16	サブネットマスク	255.255.255.0	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.100	DNSサーバー			
WAN設定														
IPアドレス	192.168.1.16													
サブネットマスク	255.255.255.0													
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.100													
DNSサーバー														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">LAN設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>IPアドレス</td><td>192.168.2.1</td></tr> <tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr> <tr><td>DHCPサーバー</td><td>有効</td></tr> <tr><td>MACアドレス</td><td></td></tr> </tbody> </table>	LAN設定		IPアドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.0	DHCPサーバー	有効	MACアドレス			
LAN設定														
IPアドレス	192.168.2.1													
サブネットマスク	255.255.255.0													
DHCPサーバー	有効													
MACアドレス														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">無線設定 (2.4G SSID)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SSID</td><td>elecom2g-1d0517</td></tr> <tr><td>チャンネル</td><td>4ch</td></tr> <tr><td>暗号化</td><td>WPA2</td></tr> <tr><td>BSSID</td><td></td></tr> <tr><td>接続電力量表</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	無線設定 (2.4G SSID)		SSID	elecom2g-1d0517	チャンネル	4ch	暗号化	WPA2	BSSID		接続電力量表	1
無線設定 (2.4G SSID)														
SSID	elecom2g-1d0517													
チャンネル	4ch													
暗号化	WPA2													
BSSID														
接続電力量表	1													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">無線設定 (5G SSID)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SSID</td><td>elecom5g-1d0517</td></tr> <tr><td>チャンネル</td><td>44ch</td></tr> <tr><td>暗号化</td><td>WPA2</td></tr> <tr><td>BSSID</td><td></td></tr> <tr><td>接続電力量表</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	無線設定 (5G SSID)		SSID	elecom5g-1d0517	チャンネル	44ch	暗号化	WPA2	BSSID		接続電力量表	0
無線設定 (5G SSID)														
SSID	elecom5g-1d0517													
チャンネル	44ch													
暗号化	WPA2													
BSSID														
接続電力量表	0													

メニュー項目	内容
インターネット接続	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→ P52)
動作モード設定	ルーターモードのほか、本製品をアクセスポイントとして使用することができる「アクセスポイントモード」(→ P44)、本製品を子機として使用することができる「子機モード(コンバーターモード)」(→ P47)、中継器として使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」(→ P52)を選択するためのメニューです。
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定(→ P57)、暗号化設定(→ P62)、アクセスコントロール(→ P59)、WPS設定(→ P61)があります。
WAN&LAN設定	インターネット接続に関する設定をするメニューです。LAN設定(→ P70)、WAN設定(→ P74)があります。
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→ P79)、ファームウェア更新(→ P82)、設定保存と復元(→ P83)、パスワード設定(→ P85)があります。
言語設定	設定ユーティリティ画面の表示言語を切り替えます。

6

セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。
これらの確認事項は、本製品をご自宅で使用する場合に必要な項目です。
ホテルでのご利用時は以下の項目の確認は不要です。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダーと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダーとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合はNTT とのご契約とは別にプロバイダーとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダーとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、IEEE802.11n/11g/11b/11aいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

ブロードバンドモデムのタイプについて

本製品は、ルーター機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルーターです。現在、プロバイダーから提供されるブロードバンドモデムや終端装置には、すでにルーター機能が内蔵されている製品があります。ルーター機能内蔵のブロードバンドモデムや終端装置に本製品を接続する場合は、本製品のモードをアクセスポイントモード (AP) に設定してお使いいただけます。(本製品は、初期設定でルーターモード (RT) に設定されています。)

設定に必要なプロバイダー情報を用意する

本製品をルーターモードでご使用になる場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要があります。

特に、NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を使用している場合は、プロバイダーから提供されるユーザーID とパスワードが必要になることがあります。また、固定IP サービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

MEMO

アクセスポイントモードでご使用の場合

終端装置に搭載されたルーター機能を使用するため、本製品をアクセスポイントモードで利用する場合は、Chapter 2 「4. 無線LANで接続する」 (→ P30) をお読みください。

プロバイダーの情報について

ご契約のプロバイダーによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダー側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE 接続方式の場合

NTT フレッツサービスなど「PPPoE 接続」でインターネットに接続するプロバイダーの場合は、ユーザーID とパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずですが、記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID (ユーザー名) 【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダーによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーID に「@」が入っている場合は、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダー識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE 接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が不要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルーター機能が用意されている場合

プロバイダーから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP 接続方式の場合

DHCP 接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C プロバイダーから固定IPアドレスが提供されている固定IP方式の場合

インターネット側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)が固定で割り当てられるサービスです。次の内容をお調べのうえ、記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
WAN 側IPアドレス※1	
WAN 側サブネットマスク	
WAN 側ゲートウェイ	
DNS サーバーアドレス	プライマリDNS
	セカンダリDNS

※1 グローバルIPアドレスです。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品をモデムなどつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に付属の「設定手順書①」などに、わかりやすい説明があります。

「設定手順書①」が見つからない場合は、エレコムホームページからもダウンロードできます。

1

セットアップの流れ

ホテルで使用する場合

ホテルの有線LANとの接続

ホテルの客室にあるLAN端子と、本製品のWANポート（青色）を、ホテルに設置されているLANケーブルで接続します。

※初期設定はルーターモードです。

電源の接続

●付属のACアダプターから電源供給（WRH-583xx2シリーズ）

付属のACアダプターから電源を給電することもできます。

●付属のUSBケーブルから電源供給（WRH-583xx2-Sシリーズ）

付属のmicroUSB（microB-A）ケーブル＋別売の電源供給アダプターから電源を給電することができます。

パソコンまたは無線子機の接続

有線LANの場合は、パソコンと本製品のLANポートをLANケーブルで接続します。

各機器に応じた接続設定を行います。

iPhone/iPad/iPod touch（iOS 4.0以上でカメラ付きモデル）やAndroid搭載スマートフォン/タブレットの設定には、専用アプリ「QR link」が使用できます。

これで設定は完了です。

※1 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。



アクセスポイントモード時に同一ネットワーク内へ本機種を複数台設置する場合、各機のIPアドレスを重複しないように固定IPアドレスに設定してから設置してください。正しく管理画面にアクセスすることができなくなります。IPアドレスの固定方法はP80「LAN設定画面」を参照ください。

ご自宅で使用する場合

有線LANで接続するパソコンと無線LANで接続する無線子機で使う

プロバイダー情報の準備

回線の種別の情報やNTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダーや固定IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダーからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

◆無線LANで接続する無線子機しか使用しない場合でも、インターネットの接続設定のために有線LANでパソコンを接続する必要があります※1。

本製品を「AP (アクセスポイントモード (→P17))」で使用する場合

インターネット接続のための設定

設定ユーティリティを起動して、インターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。

PPPoE 接続 (NTT フレッツサービスなど) や固定IP 接続の場合は、プロバイダーからの情報の入力が必要です。

無線LAN用のドライバー等のインストール

ご使用になる無線アダプターのドライバーや設定ユーティリティを、無線子機にインストールしておきます。※2 iPhone/iPad/iPod touch (iOS 4.0 以上でカメラ付きモデル) や Android 搭載スマートフォン/タブレットの設定には、専用アプリ「QR link」が使用できます。

無線LAN接続の設定

WPS 機能に対応する場合

WPS 機能を使って設定します。設定ボタンを押すだけです。※2

WPS 機能に対応しない場合

無線アダプター側に、SSID やセキュリティなどを手動で設定します。※2

無線LANでのインターネット接続の確認

無線LANで接続する無線子機からホームページなどに接続できることを確認します。

これで設定は完了です。

※1 本製品の設定ユーティリティに接続するためにパソコンをご用意ください。

※2 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

有線 LAN で接続するパソコンだけで使う

プロバイダー情報の準備

回線の種別の情報やNTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダーや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダーからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

終端装置に既にルーターが設置されている場合

インターネット接続のための設定

設定ユーティリティを起動して、インターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。
PPPoE 接続 (NTT フレッツサービスなど) や固定 IP 接続の場合は、プロバイダーからの情報の入力が必要です。

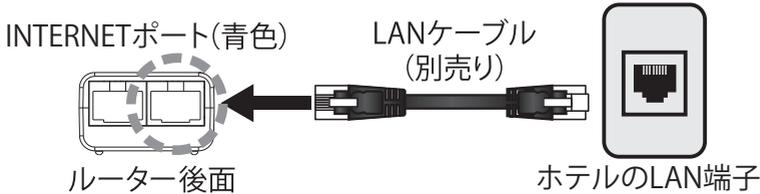
これで設定は完了です。

2

ホテルで使用する

ここではホテルで本製品を使って、インターネットに接続するための準備を説明します。

- 1** 別売り、またはホテルに設置されているLANケーブルを、ホテルの客室にあるLAN端子と本製品のINTERNETポート(青色)に接続します。



- 2** 以下のいずれかの方法で電源を取ります。

- 同梱のACアダプターで給電



- パソコンのUSBポート+同梱のUSB (microB-A) ケーブルで給電



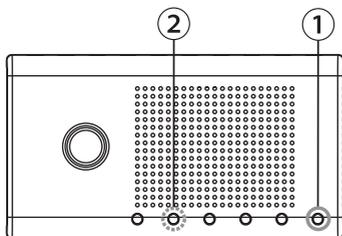
※1A以上の出力をもつポートに接続してください。

※ノートPCに接続する場合には必ずノートPCにACアダプターを接続してください。

●別売のUSB 給電アダプター+同梱のUSB (microB-A) ケーブルで給電



本製品のランプの状態が次のようになっていることを確認します。

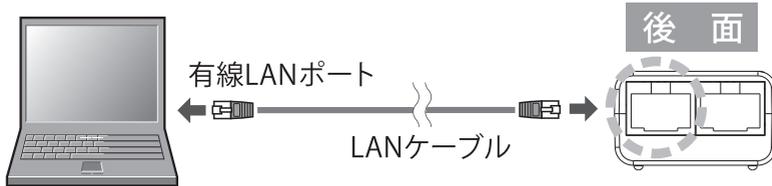


①	PWR ランプ	青色点灯
②	WAN ランプ	青色点灯あるいは青色点滅

※電源を入れてから本状態になるまでに約30秒程掛かります。

有線LANで接続する

パソコンと、本製品のLANポートをLANケーブルで接続します。



MEMO

ホテルによっては、Webブラウザ (IEやSafariなど) による認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

※お客様のパソコンの設定によっては、パソコンのIPアドレスの設定 (自動取得や固定) を変更する必要があります。

無線LANで接続する

P30「4. 無線LANで接続する」を参考に、無線LAN子機として使用するパソコン、または、スマートフォンから本製品に無線LANで接続してください。

3 ご自宅で使用する

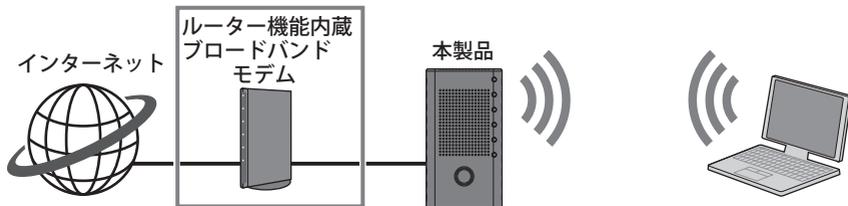
ここではご自宅で本製品を使ってインターネットに接続するまでの手順を説明します。ホテルで使用する場合、P23「2 ホテルで使用する」を参照してください。

インターネット接続のタイプについて

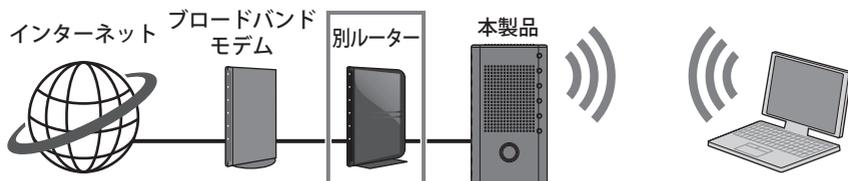
本製品を使用する前にインターネット接続のタイプを確認します。インターネットの接続設定のタイプによっては、本製品でインターネット接続の設定が不要な場合があります。無線子機(無線アダプター)との設定は、WPS機能を使って自動接続ができます。無線子機からの無線接続については、P30「4 無線LANで接続する」で説明しています。

インターネット接続のための設定が不要な場合

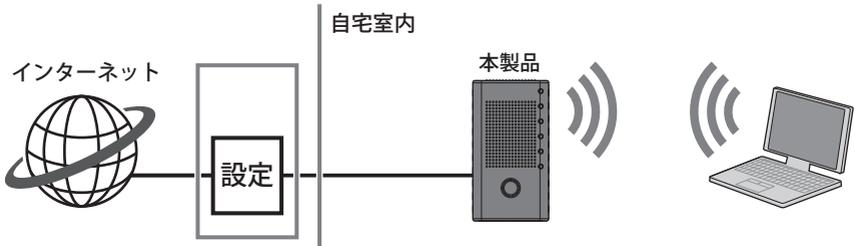
- ブロードバンドモデムにルーター機能があり、インターネットの設定がされている



- 別のルーターがあり、そのルーターにインターネットの設定がされている



●マンションのサービスで、インターネット設定がされている



本製品ではインターネットへの接続設定は必要ありません。P30「4 無線LANで接続する」へ進みます。

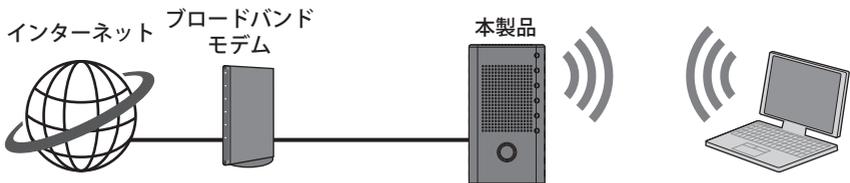
インターネット接続のための設定が必要な場合

ご自宅のインターネット接続のタイプが次の場合やお買い上げの状態ですインターネットへの接続がうまくいかない場合は、動作モードがRT/CV (ルーターモード) であることを確認し、インターネットへの接続設定を行う必要があります。

P74「WAN設定画面」

MEMO

モード切り替えスイッチで動作モードを切り替えると、本製品が自動的に再起動します。使用できる状態になるまでは、電源をオフにしないでください。



インターネットへの接続作業が完了したら、P30「4 無線LANで接続する」へ進みます。本製品の設定のために有線LANで接続していたパソコンを、無線LANで接続するようにする場合は、LANケーブルを取り外し、パソコンの無線LAN機能が使用できるように準備しておいてください。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンやスマートフォンから Web ブラウザーを使って表示します。

MEMO

パソコンは IP アドレスが自動取得になっている必要があります

ここでは、本製品がルーターモードで、DHCP サーバー機能により、パソコンが IP アドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定の IP アドレスを設定している場合は、パソコンの IP アドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品の IP アドレス(初期値: ルーターモードの時) = 192.168.2.1

1 有線の場合は、パソコンと、本製品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

無線の場合は、「P30 4.無線 LAN で接続する」を参考に、無線での接続を行います。

- ブロードバンドモデムと本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動してください。順序が逆の場合、パソコン側が IP アドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 Internet Explorer や Safari などの Web ブラウザーを起動します。

3 Web ブラウザーの [アドレス] 欄に、「http://wrh-583xx2.setup」と入力し、[Enter] キーを押します。



- 認証画面が表示されます。

MEMO

認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、LAN ケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンの IP アドレスを確認してください(→ P107 「パソコンの IP アドレスを表示する」)

5 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

Windows セキュリティ

Windows 7 の場合

WRH-583xx2のサーバー wrh-583xx2.setup にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

ユーザー名	admin
パスワード	admin

admin

資格情報を記憶する

OK

1 入力する

2 クリック

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。

MEMO

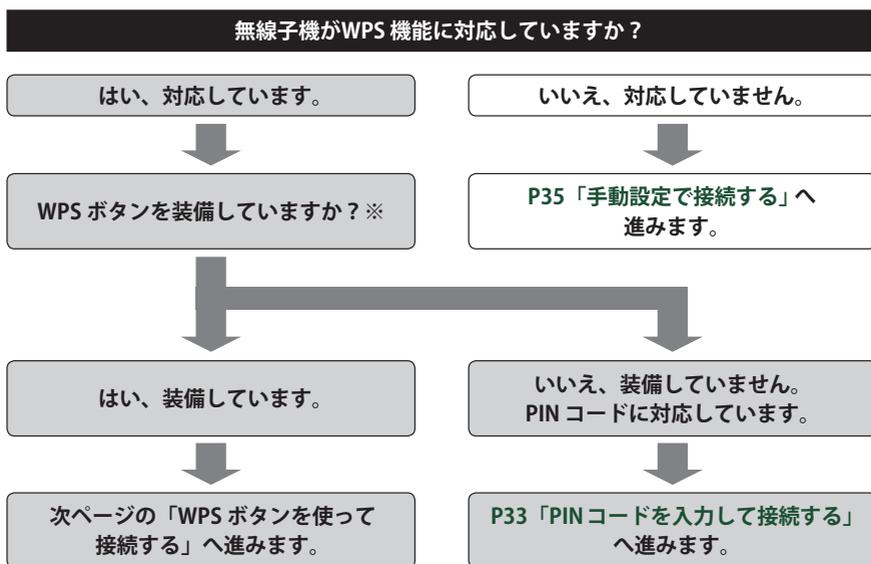
不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→P102 「パスワード設定画面」)。

4 無線LANで接続する

パソコンの無線子機(無線アダプターなど)から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。WPS機能に対応していない無線子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線子機側に設定することで接続することができます。



※ WPS ボタンについて

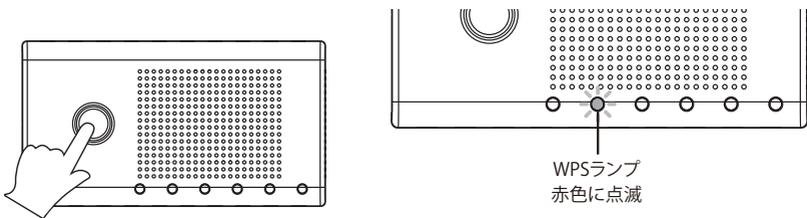
WPSの「プッシュボタン方式」は、無線子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPS ボタンを使って接続する

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機側が「WPS」設定をできるように準備します。



- 3 本製品の側面にある「WPS ボタン」を5秒以上押し、離します。



- WPS ランプが赤色に点滅し、WPS 対応の無線子機の接続を待つ状態になります。WPS ランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

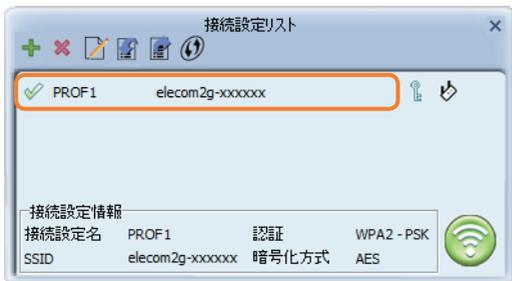
MEMO

接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎるとWPS ランプは消灯します。

4 無線子機側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- ・弊社製のWPS対応製品の場合は、本体の「設定ボタン」を1秒以上押して、離します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。

5 無線子機側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。



エレコム製無線子機の画面例

- ・本製品のWPSランプは消灯します。

6 Web ブラウザーからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



エレコム Web サイト <http://www.elecom.co.jp/>

7 これでWPS機能を使った無線子機の設定は完了です。無線子機が他にもある場合は、同じ手順で設定します。

PIN コードを入力して接続する

WPS 機能の PIN コード方式で設定します。無線ルーター側に設定された PIN コードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定された PIN コードを無線ルーターに入力する方法があります。ここでは無線ルーター側に設定された PIN コードを無線子機に入力する場合の操作の流れを説明します。

MEMO

無線子機側の PIN コードを本製品に入力する場合

P61 「WPS 機能の設定」をお読みにになり、[無線端末の PIN コード入力]に、無線子機側の PIN コードを入力し、実行してください。

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 本製品の設定ユーティリティを表示します。
 - ・設定ユーティリティの表示方法については、P28 「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。
- 3 設定ユーティリティで画面左のメニューリストから[無線設定]→[2.4GHz WPS 設定]または[5GHz WPS 設定]を選択して、〈WPS 設定〉画面を表示します。
- 4 「本製品の PIN コード」をメモします。

WPS設定 (2.4GHz)

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

WPSの無効
 PIN方式の無効

本製品のPINコード: 21595684

PBC方式で接続:

無線端末のPINコード入力:

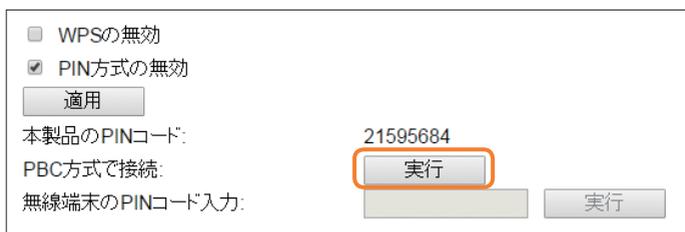
本製品の PIN コード

- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機のPINコードの[接続設定モード]を「レジストラ」に設定してから、本製品のPINコードを無線子機側に入力します(※)



※実際の無線子機によって項目名などが異なります。ご使用になる無線子機の説明書をお読みください。

- 6** 本製品の設定ユーティリティの〈WPS設定〉画面で、[PBC方式で接続]の「実行」をクリックします。



- 7** 無線子機側でPINコードの受信を実行します。



- 8** 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS 機能を持たない無線子機の場合は、無線子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下の通りです。無線子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線子機側に設定してください。

項目		本製品の設定値 (初期値)										
SSID		elecom2g-aaaaaa (2.4GHz 接続用 SSID) elecom5g-aaaaaa (5GHz 接続用 SSID) ※ aaaaaa は、0～9、a～f のランダムな英数字です。										
認証方式	WPA-Mixed	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。										
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。										
WPA ユニキャスト 暗号スイート		WPA2-PSK										
共有キー フォーマット		パスフレーズ										
暗号キー		<p>本製品に付属の設定情報シートをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。</p> <p>●設定情報シート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">設定情報シート (初期値)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">2.4GHz SSID</td> <td>elecom2g-aaaaaa</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 設定用 QR コード  </td> </tr> <tr> <td>暗号化方式</td> <td>WPA/WPA2 mixed</td> </tr> <tr> <td>暗号キー</td> <td>YYYYYYYYYYYYYY</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> ※「aaaaaa」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「YYYYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。 </td> </tr> </table> <p>※出荷時期によっては、実際の設定情報シートがイラストと異なる場合があります。</p> <p>PASS 記入欄</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> </div>	2.4GHz SSID	elecom2g-aaaaaa	設定用 QR コード 	暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY	※「aaaaaa」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「YYYYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。		
2.4GHz SSID	elecom2g-aaaaaa	設定用 QR コード 										
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed											
暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY											
※「aaaaaa」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「YYYYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。												

MEMO

上記の本製品の初期値にあわせ、設定情報シート上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを表示せずに、無線子機側の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2** 無線子機の設定ユーティリティを起動します。
- 3** 設定ユーティリティのリストのSSID に「elecom2g-aaaaaa」または「elecom5g-aaaaaa」と表示された場合は選択します。
 - aaaaaa は、0～9、a～f のランダムな英数字です。
 - SSID 自動的に検出できない場合は、手動で無線子機の設定ユーティリティにある「SSID」に、本製品のSSID の設定値(例：elecom2g-aaaaaa)を半角英数字(小文字)で入力します。
- 4** 本製品はセキュリティ機能として暗号化機能(WPA2-PSK/AES/パスフレーズ13文字)があらかじめ設定済みです。無線子機の設定ユーティリティにある[暗号化]に関する設定画面を表示します。
- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線子機側に設定します。
- 6** 設定後、無線LAN 経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) を接続する

iOS 4.0 以降のカメラ付きモデルでは、「App Store」から専用アプリ「QR link」をダウンロードして、かんたんに接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書①」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動で Wi-Fi 設定してください。

1 メインメニューの[設定]をタップします。



※画面は iPhone 6 (iOS 9) の例です。

2 設定メニューの[Wi-Fi]をタップします。



3 「ネットワークを選択」のリストから、同梱の「設定情報シート」内に記載されたものと同じSSIDを選択し、タップします。

MEMO

2.4GHz と 5GHz の 2 つの SSID が表示されますので、接続する機器の仕様に合わせて選択してください。



Wi-Fi がオフのときは、タップしてオンにします。

2.4GHz の場合に選択します。

5GHz の場合に選択します。

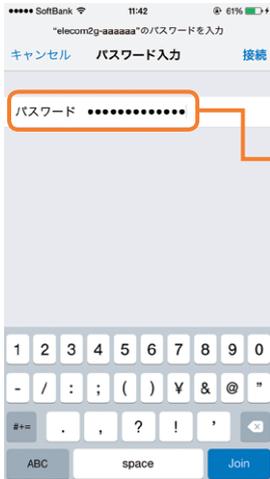
※ aaaaaa には、0～9、a～f のランダムな半角英数字が組み合わされて表示されます。



注意

elecom2g-xxxxxx や elecom5g-xxxxxx が複数見つかった場合
近隣に同じ SSID の無線親機があります。電波の強いほうを選んでください。
※通信が安定しない場合は、SSID の変更をお勧めします。

4 本製品のパスワードを入力し、**Join** をタップします。



●設定情報シート

設定情報シート (初期値)

2.4GHz SSID	elecom2g-aaaaaa	設定用 QR コード 
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	
暗号キー	YYYYYYYYYYYY	
5GHz SSID	elecom5g-aaaaaa	
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	
暗号キー	YYYYYYYYYYYY	

※「aaaaaa」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。
※「YYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。

2.4GHzの場合はこの暗号キーを入力してください。

5GHzの場合はこの暗号キーを入力してください。

- パスワード (暗号キー) は、「設定情報シート」に表示された13桁のランダムな数字です。

5 正しく接続できたか確認します。



✓マークが表示されていることを確認します。



注意

●無線接続に失敗した場合

手順 4 で誤ったパスワードを入力した可能性があります。次の手順で接続をやり直してください。

- ① リストに表示された「elecom2g-aaaaaa」または「elecom5g-aaaaaa」の右端にある [>] をタップします。
- ② [このネットワーク設定を削除] をタップします。
- ③ 手順 3 からやり直します。

●「ネットワーク“elecom2g-aaaaaa”に接続できません。」または「ネットワーク“elecom5g-aaaaaa”に接続できません。」と表示された場合

- iPhone/iPad/iPod touch の電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- Bluetooth 機能がオンの場合、電波干渉により Wi-Fi 接続ができないことがあります。Bluetooth 機能をオフにしてからやり直してください。

6 ホームボタンでメインメニューに戻ります。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザー (Safari など) による認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

Android スマートフォン/タブレットを接続する

Android2.1以降のカメラ付きモデルでは、「Google Play」から専用アプリ「QR link」をダウンロードして、**かんたん**に接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書①」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動でWi-Fi設定してください。

MEMO

画面はASUS_T00P (Android 4.4.2)での例です。お使いの機種により画面の内容が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。詳しくは各社スマートフォン/タブレットの説明書をご確認ください。

1 メニューボタンを押します。

2 [設定]をタップします。



3 [無線とネットワーク]の[Wi-Fi]をタップします。



Wi-Fi がオフのときは、タップしてオンにします。

4 リストから、同梱の「設定情報シート」内に記載されたものと同じSSIDを選択し、タップします。



2.4GHz の場合に選択します。

5GHz の場合に選択します。

※ aaaaaa には、0～9、a～f のランダムな半角英数字が組み合わされて表示されます。

5 パスワードを入力して、**接続** をタップします。

●設定情報シート

設定情報シート (初期値)

2.4GHz SSID	elecom2g-aaaaaa	設定用 QR コード
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	
暗号キー	yyyyyyyyyyyy	
5GHz SSID	elecom5g-aaaaaa	
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	
暗号キー	yyyyyyyyyyyy	

※「aaaaaa」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。
 ※「yyyyyyyyyyyy」には、13桁のランダムな数字が入ります。

2.4GHzの場合はこの暗号キーを入力してください。

5GHzの場合はこの暗号キーを入力してください。

6 選択したネットワークに接続できていることを確認します。

画面上部に空が表示されていることを確認します。

Wi-Fi ON

elecom2g-aaaaaa
接続済み

保存済み、WPA2で保護

WPA2で保護

WPAで保護 (WPS利用可)

802.1xで保護

802.1xで保護

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザーによる認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

5

APモードで設定ユーティリティにアクセスする

本製品を AP モードでご使用の場合、ご使用のネットワークのセグメントが「192.168.2.xxx」以外の場合は、本製品の LAN 側の IP アドレスをご使用のネットワークのセグメントにあわせないと、本製品の設定ユーティリティにアクセスすることができません。以下の手順で、設定ユーティリティにアクセスし、IP アドレスを手動で設定します。

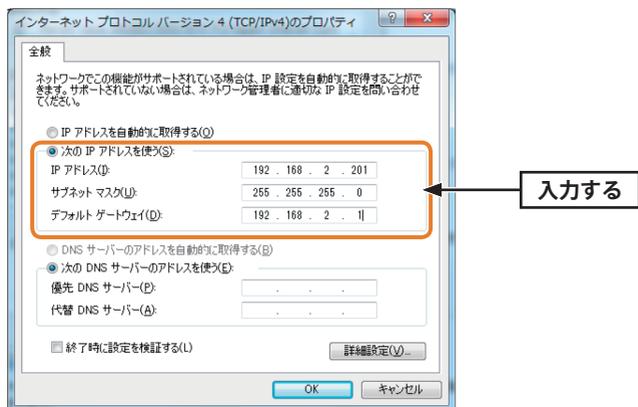
※本製品の IP アドレス (初期値) 「192.168.2.1」を、他の機器でご使用の場合で、本製品にアクセスするときも、IP アドレスの変更が必要です。

1 設定用にパソコンを 1 台用意します。

2 パソコンの「IP アドレス」を手動設定に変更し、本製品と同じセグメント (192.168.2.xxx) を割り当てます。

例) パソコンの IP アドレス = 192.168.2.201

※ 192.168.2.1 は本製品の IP アドレスの初期値です。使用しないでください。

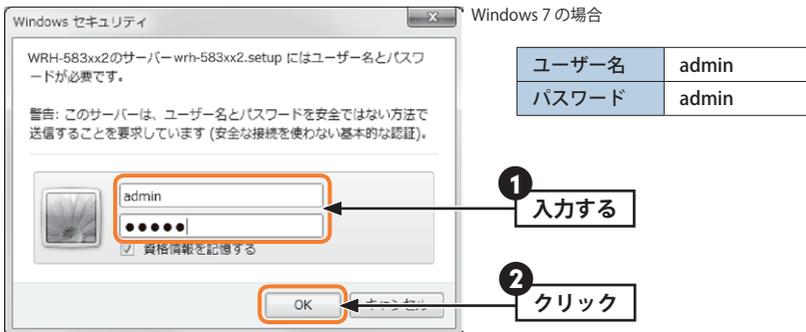


3 パソコンと本製品を有線 LAN で配線します。

- 4** パソコンのWebブラウザを起動します。アドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



- 5** 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK**をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。

- 6** 画面左のメニューリストから [WAN&LAN 設定] → [LAN 設定] を選択します。

7 [IP アドレス] を、ご使用のネットワークのセグメントにあわせませす。

例) ご使用のネットワークが「192.168.0.1」の場合

→本製品の固定IPアドレス「192.168.0.xxx」

※「xxx」は、ご使用のネットワークの他のネットワーク機器と重複しない数値を設定してください。

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCP範囲:

DHCPリース時間: (1 ~ 10080 minutes)

本製品のIPアドレスは忘れないようにメモしてください。

192.168. .

8 **適用** をクリックし、設定を保存します。**9** 設定に使用したパソコンのIPアドレスを「自動取得」に戻します。**10** これで、ご使用のネットワーク上のパソコンから、本製品の設定ユーティリティにアクセスできるようになります。

本製品の設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、パソコンのWebブラウザのアドレス欄に「http://(本製品に指定したIPアドレス)」を入力して、アクセスします。

例)本製品に「192.168.0.201」を割り当てた場合→ http://192.168.0.201

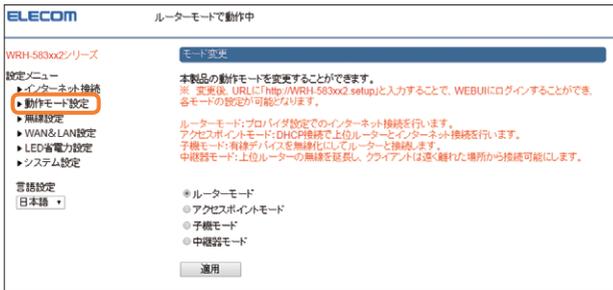
6

無線子機(コンバーター)モードを使う

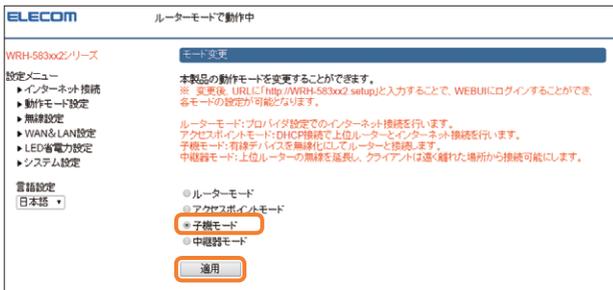
本製品を子機モード(コンバーターモード)に変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。ネットワーク対応TVなどと子機モードの本製品を組み合わせることで、別途用意された無線親機と無線LANで接続することができます。

無線子機(コンバーター)モードの設定方法

- 1 本紙の「設定ユーティリティ画面を表示する」(P60)を参照してお使いの端末から設定ユーティリティ画面へ開きます。
- 2 メニューから[動作モード設定]を選択します。



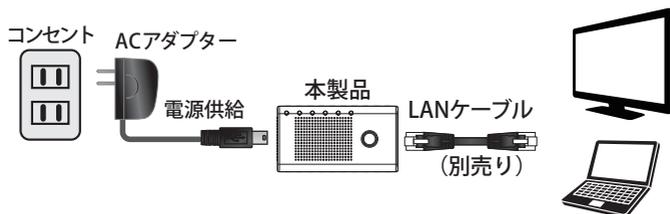
- 3 子機モードを選択し、[適用]ボタンをクリックしてください。本製品が再起動します。



- 4** 再起動をしたら接続をしたいルーター（親機）のWPSボタンと本製品のWPSボタンをWPS/RESETランプが点滅するまで（5秒ほど）押して下さい。



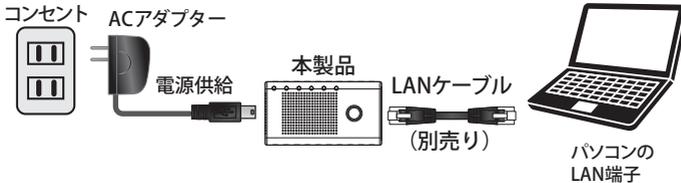
- 5** WPS/RESET ボタンの点滅が終了したら無線接続したい機器を本機のINTERNETポートに接続して下さい。



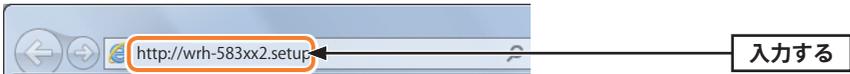
WPS ボタンがルーターについてない場合の接続方法

※事前に「無線子機(コンバーター)モードの設定方法」を行っておいてください。

1 本機のINTERNETポートにPCをつなぐ。



Web ブラウザーの[アドレス]欄に、キーボードから「<http://wrh-583xx2.setup>」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



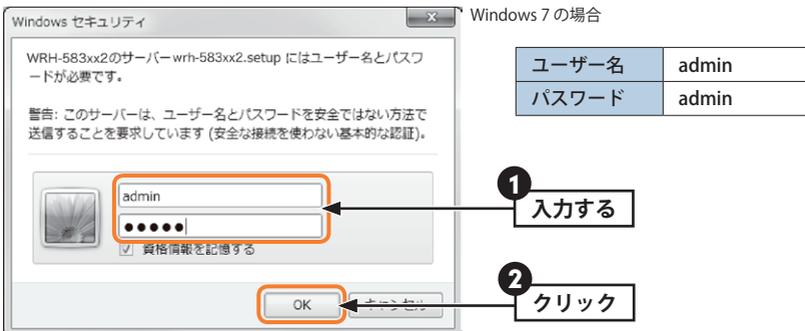
- 認証画面が表示されます。

MEMO

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

MEMO

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→ P102 「パスワード設定画面」)。

4 [無線設定]を選び、[検索]ボタンを押す。

ELECOM 子機モードで動作中 親機と無線接続できています。

WRH-583xx2シリーズ 無線設定

設定メニュー

- ▶ 動作モード設定
- ▶ **無線設定**
- ▶ LAN設定
- ▶ LED省電力設定
- ▶ システム設定

言語設定
日本語 ▼

SSIDの選択: elecom5g-B51648 **検索**

チャンネル: 104

帯域: 5G ▼

暗号化: WPA2-PSK(AES) ▼

暗号キー:

パスワードの表示:

適用

5 表示されたリストから接続したいルーターのSSIDを選択し、[適用]ボタンを押します。

接続する相手先を選択してください。

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号	モード
<input type="radio"/>	104	elecom5g-B51648	00:90:fe:b5:16:4b	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	78	11a/n/ac
<input type="radio"/>	36	Buffalo-A-ECB8	dc:fb:02:cd:ec:bc	AES	WPA2-PSK	47	11a/n/ac
<input type="radio"/>	116	MK-PROPER-EAP-TLS	18:64:72:76:07:a8	AES		27	11a/n
<input type="radio"/>	100	pf00m-8d18a-3	10:4b:46:5d:18:b1	AES	WPA2-PSK	26	11a/n/ac
<input type="radio"/>	104	pf00m-2ceea-3	10:4b:46:c2:ce:cc	AES	WPA2-PSK	24	11a/n/ac
<input type="radio"/>	100	MK-PROPER-EAP-TLS	18:64:72:76:08:a9	AES		24	11a/n
<input type="radio"/>	36	WARPSTAR-17451B-A	00:3a:9d:3a:cd:51	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	20	11a/n
<input type="radio"/>	36	WARPSTAR-17451B-AW	00:3a:9d:3a:cd:51	WEP	OPEN	20	11a
<input type="radio"/>	132	MK-PROPER-EAP-TLS	18:64:72:76:07:78	AES		19	11a/n
<input type="radio"/>	64	Buffalo-A-F88F	b0:c7:45:64:9b:95	AES	WPA2-PSK	17	11a/n
<input type="radio"/>	52	MK-PROPER-EAP-TLS	18:64:72:76:0b:08	AES		17	11a/n
<input type="radio"/>	40	IDABASHI_A	4c:e6:76:78:75:69	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	15	11a/n
<input type="radio"/>	108	au_WIFI2	0:b0:52:0c:a4:cc	AES		15	11a/n

更新 **適用**

6 接続したいルーターのパスワードを入力します。

ELECOM
子機モードで動作中
親機と無線接続できています。

WRH-583xx2シリーズ
無線設定

設定メニュー

- ▶ 動作モード設定
- ▶ 無線設定
- ▶ LAN設定
- ▶ LED省電力設定
- ▶ システム設定

言語設定

日本語 ▾

SSIDの選択:

チャンネル: 104

帯域: 5G ▾

暗号化: WPA2-PSK(AES) ▾

暗号キー:

パスワードの表示:

7 接続が完了したら画面中に「親機との接続ができています」と表示されますのでご確認ください。その後、無線接続したい機器を本機のINTERNETポートに接続してください。

ELECOM
子機モードで動作中
親機と無線接続できています。

WRH-583xx2シリーズ
設定の保存に成功しました。

設定メニュー

- ▶ 動作モード設定
- ▶ 無線設定
- ▶ LAN設定
- ▶ LED省電力設定
- ▶ システム設定

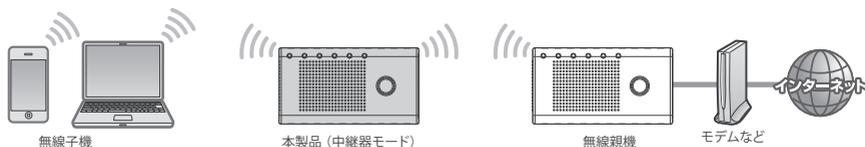
言語設定

日本語 ▾

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。
すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

7 中継器(リピーター)モードを使う

本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広くすることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。

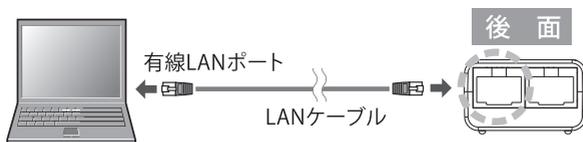


注意

2.4GHzと5GHzの同時使用はできなくなります。接続先の無線親機と本製品との間で使用している周波数帯でのみアクセスできます。

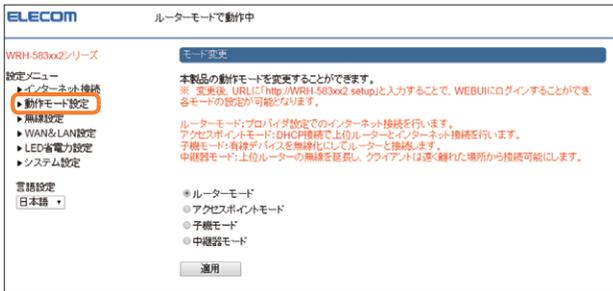
中継器モードに変更する

本製品の設定をするために、本製品と有線LANで接続するパソコンを1台用意し、本製品のLANポート(黒色)とパソコンの有線LANポートをLANケーブルで接続しておきます。

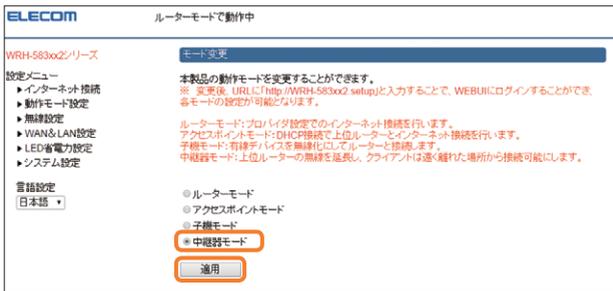


- 1 本紙の「設定ユーティリティ画面を表示する」(P60)を参照してお使いの端末から設定ユーティリティ画面へ開きます。

2 メニューから[動作モード設定]を選択します。



3 [中継器モード]を選択し、[適用]をクリックします。設定ユーティリティの画面を閉じます。



4 2分以上経過後、設定用に本製品に接続しているパソコンのLANケーブルをLANポートから「INTERNETポート」に差し替えます。



- 中継器モードでは、「INTERNETポート」が設定用のコンソールポートになります。

5 手順 **4** の後に、1 分以上経過してから、Web ブラウザを起動します。アドレス欄に「http://192.168.2.251」と入力し、設定画面にアクセスします。

- ログイン画面が表示された場合は、ログインします。
- 初期値は、ユーザー名「admin」、パスワード「admin」です。

6 中継器モードの設定ユーティリティ画面が表示されます。

The screenshot shows the ELECOM web interface. At the top, there is a status bar with '中継器モード動作中' (Relay Mode Operation) highlighted in an orange box and '親機と無線接続できていません。' (Cannot connect to the parent device wirelessly.) to the right. Below this, the 'ステータス' (Status) section is visible, containing a table with system information:

システム	
稼働時間	0日 0時6分59秒
ファームウェアバージョン	v1.00
動作モード	中継器モード
LAN設定	
IPアドレス	
サブネットマスク	
MACアドレス	
無線側情報	

「中継器モードで動作中」と表示されます。

7 次の「無線親機にアクセスする」へ進みます。

MEMO

中継器モードからルーター/APモードに戻すには…

- ① 設定用のパソコンと本製品（中継器モード）の「INTERNETポート」をLANケーブルで接続し、Webブラウザから設定ユーティリティを開きます。
- ② モード変更画面で、「ルーターモード」もしくは「アクセスポイントモード」を選択し、**適用**をクリックします。
- ③ 2分経過後、設定ユーティリティを閉じ、LANケーブルをINTERNETポートに接続し直します。
- ④ 再度、設定ユーティリティを開き（「http://192.168.2.1」を入力（初期値の場合）、画面上部に「ルーターモード（またはAPモード、Autoモード）で動作中」と表示されたら完了です。

無線親機にアクセスする

あらかじめ以下の準備をしておきます。

- 本製品を中継器モードで使用するときは、手動で暗号機能を設定する必要があります。無線親機の以下の情報をご用意ください。無線親機が本製品と同シリーズの場合は、設定情報シートに記載があります。

無線親機のSSID	→複数のSSIDがある場合は、接続したいSSIDをご確認ください。
使用帯域	<input type="checkbox"/> 5GHz <input type="checkbox"/> 2GHz
暗号化方式*	<input type="checkbox"/> WEP <input type="checkbox"/> WPA-PSK (TKIP) <input type="checkbox"/> WPA2-PSK (AES)
暗号キー	

* WEPの場合、本製品は「キー1」にのみ対応いたします。あらかじめキー1に暗号キーを設定しておいてください。

- 本製品の作業を進める前に、無線親機の電源を入れて、本製品が無線親機にアクセスできるようにしておきます。

1 設定ユーティリティの画面左のメニューリストから[無線設定]を選択します。

2 調べておいた無線親機の情報を入力し、**適用** をクリックします。

The screenshot shows the wireless settings utility interface. On the left is a menu list with options: SSIDの選択, チャンネル, 帯域, 暗号化, 暗号キー, and パスワードの表示. The main area contains input fields for these settings. An orange box highlights the '帯域' (Band) dropdown menu, which is currently set to '2G', and the '暗号化' (Encryption) dropdown menu, which is set to 'WPA2-PSK(AES)'. A callout '1' with an arrow points to the '暗号化' dropdown, with a box labeled '入力する' (Input). Another callout '2' with an arrow points to the '適用' (Apply) button at the bottom left, with a box labeled 'クリック' (Click).

MEMO

[検索] ボタンについて

SSIDを自動で入力できるほか、暗号化方式も自動で選択されます。[帯域]で使用したい帯域を選択してから、**[検索]**をクリックすると(無線サイトサーベイ)画面が表示されます。

リストに表示された目的のSSIDの「選択」にある○を選択し、**[適用]**をクリックします。

接続する相手先を選択してください。

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号	モード
<input type="radio"/>	124	elecom5g-B51648	52:54:00:12:34:56	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	76	11a/n/ac
<input type="radio"/>	40	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	48	11a/n/ac
<input type="radio"/>	60	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	22	11a/n
<input type="radio"/>	112	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	17	11a/n
<input type="radio"/>	36	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	WEP	OPEN	16	11a
<input type="radio"/>	104	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	16	11a/n/ac
<input type="radio"/>	56	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	16	11a/n/ac
<input type="radio"/>	120	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	NONE	OPEN	14	11a/n
<input type="radio"/>	120	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	14	11a/n
<input type="radio"/>	100	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	AES	WPA2-PSK	14	11a/n

接続するSSIDのこのボタンをクリックします。

3 無線親機の電源が入っていることを確認してから、**[更新]**をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。
すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

クリック

4 無線親機へのアクセスに成功すると<ステータス>画面が表示されます。また画面上方に、「親機と無線接続できています。」と表示されます。

中継器モードで動作中

親機と無線接続できています。

ステータス

システム	
稼働時間	0日0時11分37秒
ファームウェアバージョン	v1.00
動作モード	中継器モード
無線情報	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	クライアント

※2.4GHz帯で接続した場合は、本製品の「2.4G WLAN ランプ」が点灯します。

5GHz帯で接続した場合は、「5G WLAN ランプ」が点灯します。

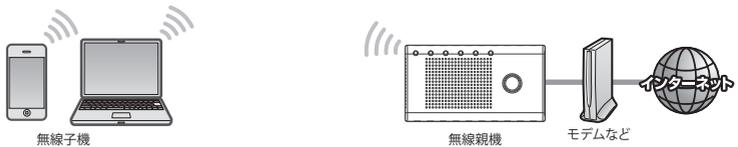
MEMO

親機との無線接続に時間がかかる場合があります。「親機と無線接続できていません。」と表示された場合は、5分程度経過したあと、画面左のメニューリストから[システム設定]→[ステータス]を選択し、再度確認してください。

- 5 設定ユーティリティの画面を閉じます。
- 6 下記の「無線中継器と接続する」へ進みます。

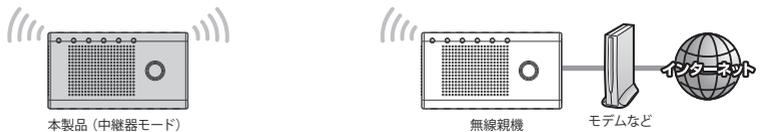
無線中継器と接続する

- 1 無線子機(クライアント端末)が無線親機にアクセスできるように設定します。

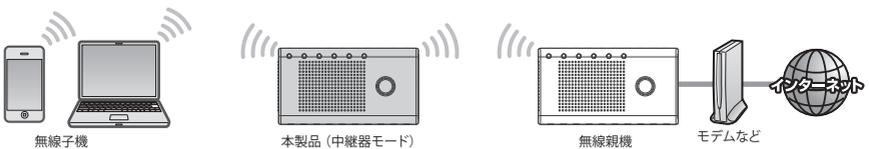


- 無線子機と無線親機の設定方法については、それぞれの説明書をお読みください。
- すべての無線子機が無線親機にアクセスできるように設定します。

- 2 本製品を適切な場所に設置し、無線親機にアクセスします。



- 3 無線子機(クライアント端末)を本製品(中継器)に近づけます。



- 4 無線親機と同じSSIDで本製品にアクセスします。インターネットに接続するなどして、正しく接続できるか確認します。

- 正しく接続できれば作業は完了です。

中継器モードでの設定メニューについて

本製品を中継器モードで使用する場合、以下のような設定メニューがあります。各メニューの説明は、下記の表を参考にしてください。

ELECOM

中継器モードで動作中

親機と無線接続できていません。

WRH-583xx2シリーズ

ステータス

設定メニュー

- ▶ 動作モード設定
- ▶ 無線設定
- ▶ LAN設定
- ▶ LED省電力設定
- ▶ システム設定

言語設定

日本語 ▼

システム	
稼働時間	0日 0時 11分 37秒
ファームウェアバージョン	V1.00
動作モード	中継器モード
有線側情報	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	クライアント
MACアドレス	
無線側情報	
SSID	
暗号化	
チャンネル	

動作モード設定	ルーター/APモード/子機モードのほか、中継器モードからモードを選択するための画面です。中継器モードについては、P52「7. 中継器モード(リピータモード)を使う」の説明を参考にしてください。
無線設定	無線親機にアクセスするための設定画面です。P55「無線親機にアクセスする」の説明を参考にしてください。
LAN設定	LAN側の設定をします。内容については、P67「4. 無線設定」を参照してください。
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P89)、ファームウェア更新(→P92)、設定保存と復元(→P100)、パスワード設定(→P102)があります。

中継器モードの注意点

- 中継器モード時の設定ユーティリティへのアクセスは、本製品背面にある「INTERNETポート」を有線LANでパソコンと接続してご使用ください。中継器モード時は、「コンソールポート」になり、パソコンからWebブラウザで各種設定が可能です。
- 中継器モード時に、本製品をリセット(初期化)しますと、設定が工場出荷時の状態に戻り、ルーターモードになります。ルーターモード時に、パソコンからWebブラウザで本製品の設定ユーティリティを開く場合は、パソコンを本製品のLANポートに接続する必要があります。

Chapter 3

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンやスマートフォンからWeb ブラウザーを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

あらかじめ、P23「2 ホテルで使用する」以降を参照し、本製品とパソコンやスマートフォンを有線LANまたは無線LAN 接続しておいてください。

設定ユーティリティ画面を表示する

- 1 Internet ExplorerやSafari などのWeb ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーの[アドレス]欄に、「http://wrh-583xx2.setup」と入力し、[Enter]キーを押します。

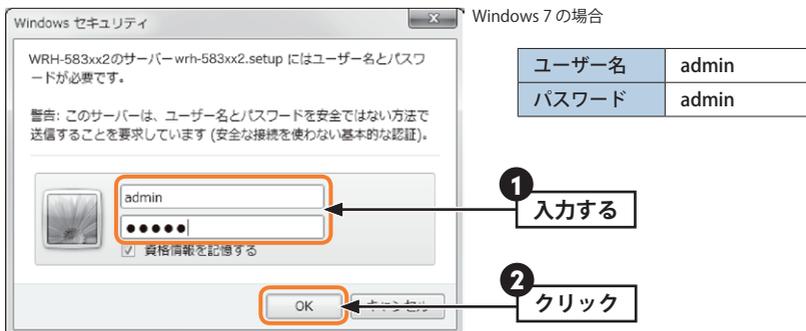


- 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

- 3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。

- ・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- ・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

MEMO

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→P102「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容

ELECOM		ルーターモードで動作中												
WRH-583xx2シリーズ		ステータス												
設定メニュー	本製品のシステム情報を表示します。													
<ul style="list-style-type: none"> ▶ インターネット接続 ▶ 動作モード設定 ▶ 無線設定 ▶ WAN&LAN設定 ▶ LED省電力設定 ▶ システム設定 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">システム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働時間</td> <td>0日0時8分55秒</td> </tr> <tr> <td>ファームウェアバージョン</td> <td>v1.00</td> </tr> <tr> <td>動作モード</td> <td>ルーターモード</td> </tr> <tr> <td>現在時刻</td> <td>2015年10月2日 16時32分00秒</td> </tr> </tbody> </table>		システム		稼働時間	0日0時8分55秒	ファームウェアバージョン	v1.00	動作モード	ルーターモード	現在時刻	2015年10月2日 16時32分00秒		
システム														
稼働時間	0日0時8分55秒													
ファームウェアバージョン	v1.00													
動作モード	ルーターモード													
現在時刻	2015年10月2日 16時32分00秒													
言語設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">WAN設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192.168.1.16</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255.255.255.0</td> </tr> <tr> <td>デフォルトゲートウェイ</td> <td>192.168.1.100</td> </tr> <tr> <td>MACアドレス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		WAN設定		IPアドレス	192.168.1.16	サブネットマスク	255.255.255.0	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.100	MACアドレス			
WAN設定														
IPアドレス	192.168.1.16													
サブネットマスク	255.255.255.0													
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.100													
MACアドレス														
日本語 ▼	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">LAN設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192.168.2.1</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255.255.255.0</td> </tr> <tr> <td>DHCPサーバー</td> <td>有効</td> </tr> <tr> <td>MACアドレス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		LAN設定		IPアドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.0	DHCPサーバー	有効	MACアドレス			
LAN設定														
IPアドレス	192.168.2.1													
サブネットマスク	255.255.255.0													
DHCPサーバー	有効													
MACアドレス														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">無線設定 (2.4G SSID)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SSID</td> <td>elecom2g-1d0517</td> </tr> <tr> <td>チャンネル</td> <td>4ch</td> </tr> <tr> <td>暗号化</td> <td>WPA2</td> </tr> <tr> <td>BSSID</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接続端末台数</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		無線設定 (2.4G SSID)		SSID	elecom2g-1d0517	チャンネル	4ch	暗号化	WPA2	BSSID		接続端末台数	1
無線設定 (2.4G SSID)														
SSID	elecom2g-1d0517													
チャンネル	4ch													
暗号化	WPA2													
BSSID														
接続端末台数	1													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">無線設定 (5G SSID)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SSID</td> <td>elecom5g-1d0517</td> </tr> <tr> <td>チャンネル</td> <td>44ch</td> </tr> <tr> <td>暗号化</td> <td>WPA2</td> </tr> <tr> <td>BSSID</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接続端末台数</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		無線設定 (5G SSID)		SSID	elecom5g-1d0517	チャンネル	44ch	暗号化	WPA2	BSSID		接続端末台数	0
無線設定 (5G SSID)														
SSID	elecom5g-1d0517													
チャンネル	44ch													
暗号化	WPA2													
BSSID														
接続端末台数	0													

メニュー項目	内容
インターネット接続	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P62)
動作モード設定	ルーターモードのほか、本製品をアクセスポイントとして使用することができる「アクセスポイントモード」(→P44)、本製品を子機として使用することができる「子機モード(コンバーターモード)」(→P47)、中継器として使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」(→P52)を選択するためのメニューです。
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定(→P67)、暗号化設定(→P72)、アクセスコントロール(→P69)、WPS設定(→P71)があります。
WAN&LAN設定	インターネット接続に関する設定をするメニューです。LAN設定(→P80)、WAN設定(→P84)があります。
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P89)、ファームウェア更新(→P92)、設定保存と復元(→P100)、パスワード設定(→P102)があります。
言語設定	設定ユーティリティ画面の表示言語を切り替えます。

2

インターネット接続

本製品のインターネット接続設定を簡単に行なうことができるウィザード画面です。指示に従い進んでいくことで簡単にインターネットに接続することができます。

インターネット接続設定ウィザードでセットアップする

「インターネット接続設定ウィザード」を使って、セットアップする手順を説明します。

- 1 画面左のメニューリストから[インターネット接続]を選択します。

The screenshot shows the router's configuration interface. At the top, it says 'ELECOM ルーターモードで動作中'. Below that, the model 'WRH-583xx2シリーズ' is displayed. A '設定メニュー' (Settings Menu) is listed on the left, with 'インターネット接続' (Internet Connection) highlighted in a red box. A 'クリック' (Click) label with an arrow points to this menu item. To the right, there is a 'ステータス' (Status) section with the text '本製品のシステム情報を表示します。' (Display system information of this product). Below that is a 'システム' (System) table:

稼働時間	0日 0時8分55秒
ファームウェアバージョン	v1.00
動作モード	ルーターモード
現在時刻	2015年10月2日 16時32分00秒

- 2 <インターネット設定>画面で [次へ] をクリックします。

The screenshot shows the 'インターネット設定' (Internet Settings) screen. It contains the following text:

インターネット接続設定を簡単に行います。

お使いのモデム等と、本製品のWANポート(青色のコネクタ)が、LANケーブルで接続されていることを確認してください。

確認後、『次へ』をクリックしてください。

 At the bottom, there is a '次へ' (Next) button highlighted with a red box, and a 'クリック' (Click) label with an arrow pointing to it.

- インターネット回線の種別の自動識別が始まります。

3 表示された画面にあわせて、次の説明へ進みます。

●自動的にインターネットへの接続確認が開始した場合 (DHCP 接続)

⇒手順 **5** へ進みます。

●PPPoE回線の設定画面が表示された場合 ⇒手順 **4a** へ進みます。

インターネット設定

お使いの回線は PPPoE回線です。

ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)、認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。

ユーザー名は、"@"以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大57文字)

パスワード: (最大57文字)

●固定IPの設定画面が表示された場合 ⇒手順 **4b** へ進みます。

インターネット設定

お使いの回線は、固定IP回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、IPアドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。

もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。
『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定IP:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

●本製品(無線ルーター)の上位にすでに別のルーターが設置されている場合

⇒ をクリックして手順 **5** へ進みます。

インターネット設定

本製品の上位にもルーターが設置されています。
ここでは、このまま『次へ』をクリックしてインターネットに接続します。

自宅サーバ等、高度なネットワーク技術を必要とする使い方をされる場合、
本製品をAPモードに変更した方がより良い性能が発揮される場合があります。
通常のインターネット接続/ネットゲーム等のご利用の場合は、このままのモードで問題ありません。

●通常は、そのまま変更しなくても正常にインターネットに接続できます。

MEMO

その他の画面が表示された場合

「インターネット接続に失敗しました・・・」「WANポートにLANケーブルが接続されていないようです。」などの画面が表示され、インターネットに接続できない場合は、以下のようことが考えられます。

●ケーブル等が正しく接続されていない

ケーブル類が正しく接続されているか、機器の電源が入っているかなどを確認してください。機器の接続方法については、P23 Chapter2「2. ホテルで使用する」をお読みください。

●インターネット回線種別を自動判別できない

接続先の終端装置やご使用の環境によって、まれに本製品の回線判別機能では、回線種別を自動的に判別できない場合があります。このような場合は、P84「WAN設定画面」をお読みになり、DHCP/PPPoE/固定IPの中から、回線種別を選択したうえで、必要な設定をしてください。

4a P17「設定に必要なプロバイダー情報を用意する」でメモした内容をもとに必要な情報を入力し、**次へ**をクリックします。

インターネット設定

お使いの回線は PPPoE回線です。

ご契約のプロバイダー様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。

ユーザー名は、"@"以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大57文字)

パスワード: (最大57文字)

① 入力する

② クリック

ユーザーIDに「@」が入っている場合
[ユーザー名]の入力において、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、必ず「@」と「プロバイダー識別子」を入力してください。

(例) `userid123@elecom.net`
ユーザー名 プロバイダー識別子

4b あらかじめプロバイダーから提供された情報を入力し、**次へ** をクリックします。

インターネット設定

お使いの回線は、固定IP回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、IPアドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。

もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定IP:
 サブネットマスク:
 デフォルトゲートウェイ:
 DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)
 DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

次へ

1 入力する

2 クリック

5 インターネットに接続できるか自動的に確認します。その後、インターネットに正常に接続できると、以下の画面が表示されます。

インターネット 接続が確認できました！
 インターネット 接続設定を終了します。
 右上の × をクリックし、本画面を閉じてください

- 画面右上の をクリックしてブラウザ画面を閉じます。

6 これでインターネットへの接続作業は完了です。引き続き、パソコンと本製品を無線LANで接続する場合は、P30「4.無線LANで接続する」へ進みます。

- 本製品の設定のために有線LANで接続していたパソコンを、無線LANで接続するようになる場合は、LANケーブルを取り外し、パソコンの無線LAN機能が使用できるように準備しておいてください。

3 モード変更

本製品の動作モードを選択する画面です。
工場出荷時は、ルーターモードに設定されています。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[動作モード選択]を選択します。

モード変更

本製品の動作モードを変更することができます。

※ 変更後、URLに「<http://WRH-583xx2.setup>」と入力することで、WEBUIにログインすることができ、各モードの設定が可能となります。

ルーターモード: プロバイダ設定でのインターネット接続を行います。
 アクセスポイントモード: DHCP接続で上位ルーターとインターネット接続を行います。
 子機モード: 有線デバイスを無線化にしてルーターと接続します。
 中継器モード: 上位ルーターの無線を延長し、クライアントは遠く離れた場所から接続可能にします。

- ルーターモード
- アクセスポイントモード
- 子機モード
- 中継器モード

ルーターモード (初期値)	インターネットの設定を登録し、接続している端末にIPアドレスを振り、コントロールを一元管理します。
アクセスポイント モード	ルーター機能内蔵のブロードバンドモデムや終端装置に接続して、ワイヤレスネットワークを拡張したり、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続する場合に使用します。 インターネットの設定やコントロールは、すべて別のルーターに託します。 本製品は、出荷時はルーターモードに設定されています。
子機モード (コンバーターモード)	本製品を子機モードに変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。
中継器モード (リピーターモード)	本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広くすることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。

4 無線設定

本製品の無線LAN 機能を設定します。

基本設定画面

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[2.4GHz 基本設定]または[5GHz 基本設定]を選択します。

基本設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

マルチSSID

2.4G SSID: (最大32文字、半角英数字のみ)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● 設定の内容

マルチSSID	本製品は、2つのSSIDを同時に使用することができます。SSIDごとにセキュリティレベルを変更することもできます。設定方法は、P68「マルチSSIDを設定する」をお読みください。
2.4G SSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「elecom2g-xxxxxx」または「elecom5g-xxxxxx」（「xxxxxx」には、0～9、a～fのランダムな半角英数字が組み合わされて表示されます。）が登録されています。
チャンネル幅	11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。（初期値：20MHz）
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1～13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（初期値：Auto）（例）1ch/6ch/11ch
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。（初期値：無効）

マルチSSIDを設定する

2.4GHz マルチSSID設定

マルチSSIDの設定を行います。

No.	有効	SSID (最大32文字)	SSIDステルス	SSIDセパレータ
2nd SSID	<input type="checkbox"/>		無効 ▼	無効 ▼

- ① マルチSSID をクリックします。
- ② 「有効」をチェックします。
- ③ SSID に2つめのSSIDとして最大32文字の任意の文字列を入力します。
- ④ 必要に応じて、SSIDステルス機能とSSIDセパレータの設定を行います。
- ⑤ 適用 をクリックします。このあとの操作はP67「設定を変更した場合」をお読みください。

● SSIDセパレータ

「有効」にすると設定中のネットワーク名（SSID）に接続している無線LAN子機は、本商品のWAN側へのアクセスのみ可能になり、同一ネットワークの他の無線LAN子機にもアクセスできなくなります。

アクセスコントロール設定画面

登録したMACアドレスを持つ無線子機とだけ無線LANで通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[2.4GHz アクセスコントロール]または[5GHz アクセスコントロール]を選択します。

2.4GHz アクセスコントロール設定

特定端末の無線接続を管理できます。登録できる端末数は、最大20です。

コントロールモード: なし

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

適用

アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	コメント	選択
選択して削除 全て削除		

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 後で再起動する を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 今すぐ再起動する をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

コントロールモード	「なし」……………アクセスコントロール機能を使用しません。 「接続許可」……[アクセスコントロールリスト]に登録したMACアドレスを持つ無線子機だけが無線LANで接続できます。 「拒否リスト」…[アクセスコントロールリスト]に登録したMACアドレスを持つ無線子機との無線LAN接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への無線LAN接続を許可または拒否する無線子機のMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機を区別するのに便利です。

●アクセスコントロールリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録した無線子機の情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックしたあと、 <input type="button" value="今すぐ再起動する"/> をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックしたあと、 <input type="button" value="今すぐ再起動する"/> をクリックします。

無線子機の登録方法

2.4GHz アクセスコントロール設定

特定端末の無線接続を管理できます。登録できる端末数は、最大20です。

コントロールモード: ▼

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	コメント	選択

- ① [コントロールモード]で「接続許可」または「拒否リスト」を選択します。
- ② [MAC アドレス]に無線子機のMAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 0090fe0123ab
- ③ 必要に応じて[コメント]に無線子機を区別するための名称など、コメントを入力します。
- ④ をクリックします。このあとの操作はP67「設定を変更した場合」をお読みください。
- ⑤ 登録する無線子機が複数ある場合は、①～④を繰り返します。

WPS 設定画面

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能の設定をします。

画面の
表示

画面左のメニューリストから [無線設定] → [2.4GHz WPS 設定] または [5.4GHz WPS 設定] を選択します。

2.4GHz WPS設定

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

WPSの無効
 PIN方式の無効

本製品のPINコード: 42123538
 PBC方式で接続:
 無線端末のPINコード入力:

現在の暗号キー情報:

認証	暗号化	暗号キー
WPA_Mixed PSK	TKIP+AES	123456789ABCD

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●WPS 設定

WPS の無効	WPS 機能を無効にする場合にチェックします。(初期値：オフ)
本製品の PIN コード	本製品の PIN コードを表示します。
PBC 方式で接続	<input type="button" value="実行"/> をクリックすることで、WPS 機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS 設定ボタン」を押すのと同じことです。
無線端末の PIN コード入力	本製品側で無線子機の PIN コードにあわせる場合に、ここに無線子機側の PIN コードを入力し、 <input type="button" value="実行"/> をクリックします。
現在の暗号キー情報	現在の暗号化設定の情報を表示します。

5

セキュリティを設定する(暗号化設定)

無線LAN で使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線LAN の普及期からある暗号化方式です。本製品は64bit と128bit の2 種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN 環境でWPA-PSK またはWPA2-PSK が使用可能な場合は、そちらを使用することを勧めます。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK (TKIP) とWPA2-PSK (AES) が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PSK (TKIP) とWPA2-PSK (AES) の混在環境に対応します。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目		本製品の設定値(初期値)							
SSID		elecom2g-xxxxxx (2.4GHz 接続用 SSID) elecom5g-xxxxxx (5GHz 接続用 SSID) ※ xxxxxx は、0～9、a～f のランダムな英数字です。							
認証方式	WPA2-Mixed	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。							
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。							
WPA ユニキャスト 暗号スイート		WPA2-PSK							
共有キーフォーマット		パスフレーズ							
暗号キー		本製品に付属の設定情報シートをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●設定情報シート <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">設定情報シート (初期値)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">2.4GHz SSID</td> <td>elecom2g-xxxxxx</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 設定用 QR コード  </td> </tr> <tr> <td>暗号化方式</td> <td>WPA/WPA2 mixed</td> </tr> <tr> <td>暗号キー</td> <td>YYYYYYYYYYYYYY</td> </tr> </table> <p>※「xxxxxx」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「YYYYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。</p> <p>※出荷時期によっては、実際の設定情報シートがイラストと異なる場合があります。</p> <p>PASS 記入欄</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> </div>	2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	設定用 QR コード 	暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY
2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	設定用 QR コード 							
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed								
暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY								

MEMO

無線設定では、2.4GHz と5GHz について利用周波数帯ごとに設定できます。

以下の画面では、2.4GHz での画面で説明します。5GHz でも同様に設定できます。

画面左のメニューリストには、現在利用できる周波数帯のみ表示されます。

WEP の設定

画面左のメニューリストから[無線設定]→[2.4GHz 暗号化設定]または[5GHz 暗号化設定]を選択します。

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[暗号化設定]を選択します。

●WEP 選択時の設定画面

暗号化設定 (2.4GHz)

セキュリティのために、暗号化を設定できません。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx ▾

認証方式: WPA Pre-Shared Key ▾

暗号化: WPA2 Mixed ▾

キーの種類: パスフレーズ(8-63文字) ▾

暗号キー:

パスワードの表示:

適用

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

1

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx
elecom2g2nd-xxxxxx

暗号化: WPA-Mixed ▾

適用

選択する

2 [暗号化]で、[WEP]を選択します。

セキュリティのために、暗号化を有効にします。

SSIDの選択:

暗号化:

WPA暗号スイート: TKIP AES

選択する

3 [キーの長さ]でセキュリティ強度を選択します。通常は128bitを選択します。

暗号化:

キーの長さ:

キーの種類:

選択する

MEMO

ご使用になる無線子機が64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線子機に1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

4 [キーの種類]で暗号キーの入力形式を選択します。

キーの長さ:

キーの種類:

暗号キー1:

パスワードの表示:

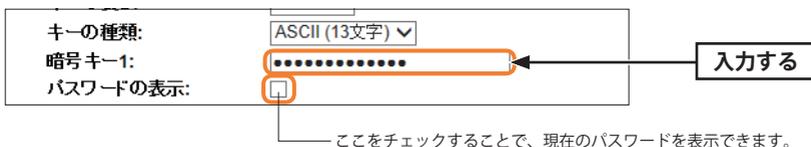
選択する

- ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII (5文字)	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII (13文字)	キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字13文字を入力します。
Hex (10文字)	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数10文字を入力します。
Hex (26文字)	キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数26文字を入力します。

※16進数とは、0～9、a-fを組み合わせた文字列です。

5 手順 4 で選んだ入力形式で、暗号キーを入力します。

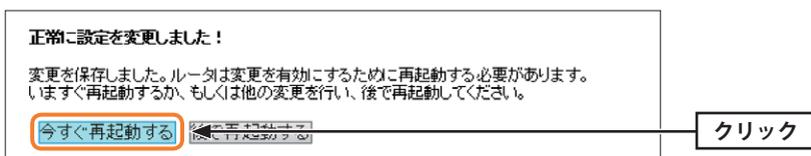


- ASCII の場合は大文字と小文字が区別されます。Hex の場合は大文字と小文字は区別されません。

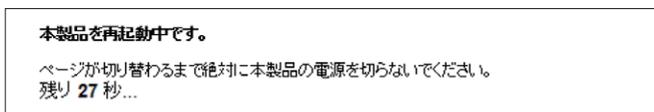
すべての設定が終われば **適用** をクリックします。



7 「正常に設定を変更しました！」と表示されます。今すぐ再起動する をクリックします。



8 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に設定ユーティリティのメイン画面に戻ります。



9 これで本製品のWEPによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

WPA-PSK/WPA2-PSK の設定

WPA-PSK (TKIP) または WPA2-PSK (AES) を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSK は、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「暗号キー」を決めておいてください。



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線 LAN を利用できません。

画面の表示

画面左のメニューリストから [無線設定] → [2.4GHz 暗号化設定] または [5GHz 暗号化設定] を選択します。

● WPA-PSK 選択時の設定画面

暗号化設定 (2.4GHz)

セキュリティのために、暗号化を設定できません。

SSIDの選択 :

認証方式 :

暗号化 :

キーの種類 :

暗号キー :

パスワードの表示 :

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 [暗号化]で、[WPA]、[WPA2]または[WPA2-Mixed]を選択します。

暗号化: WPA-Mixed ▼
 WPA暗号スイート: なし
 WPA2暗号スイート: WEP
 キーの種類: WPA2
 暗号キー: WPA-Mixed

選択する

WPA	WPA-PSKを使用します。[WPA 暗号スイート]は、「TKIP」がオンになります。
WPA2	WPA2-PSKを使用します。[WPA2 暗号スイート]は、「AES」がオンになります。
WPA2-Mixed	無線クライアントにWPA-PSK (「AES」または「TKIP」)とWPA2-PSK (「AES」または「TKIP」)が混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK (TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

2 [暗号キー]で、暗号キーの入力形式を選択します。

暗号化: WPA ▼
 WPA暗号スイート: TKIP AES
 キーの種類: パスフレーズ
 暗号キー: HEX (64文字)
 パスワードの表示:

選択する

パスフレーズ	半角英数字 (8 ~ 63 文字) を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
Hex	16 進数 64 文字 (固定) を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

※16進数とは、半角英数字の0～9、a-fを組み合わせた文字列です。

3 [暗号キー]に、手順 2 で選択した入力形式で文字列を入力します。

キーの種類: パスフレーズ ▼
 暗号キー:
 パスワードの表示:

入力する

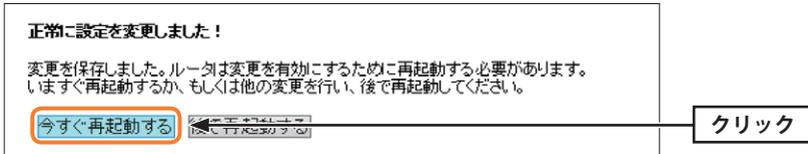
ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

4 すべての設定が終われば **適用** をクリックします。

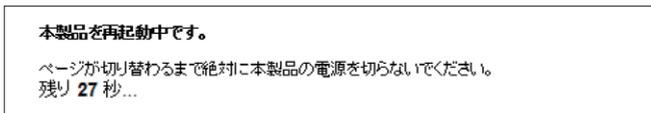
SSIDの選択: elec2g-xxxxxx ▼ 適用
 暗号化: WPA-Mixed ▼
 WPA暗号スイート: TKIP AES
 WPA2暗号スイート: TKIP AES
 キーの種類: パスフレーズ ▼
 暗号キー:
 パスワードの表示:

クリック

- 5** 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新** をクリックします。



- 6** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に設定ユーティリティのメイン画面に戻ります。



- 7** これで本製品のWPAによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

6 インターネット設定

WAN ポートに関する設定をします。

LAN 設定画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

MEMO

ルーターモードとアクセスポイント／子機／中継器モードで表示される内容が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]→[LAN 設定]を選択します。

●ルーターモードの場合

LAN設定

本製品のLAN設定を行えます。

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCP範囲: - 接続端末の表示

DHCPリース時間: (1 ~ 10080 分)

適用

●アクセスポイント／子機／中継器モードの場合

LAN設定

本製品のLAN設定を行えます。

IPアドレス:

サブネットマスク:

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 後で再起動する を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 今すぐ再起動する をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

IP アドレス	<p>本製品のLAN 側のIP アドレスです。初期値は「xxx.xxx.xxx.251 ※」（アクセスポイントモード）です。</p> <p>※ xxx.xxx.xxx の部分は接続しているネットワークに依存します。 例) 「192.168.2.」から始まる場合には「192.168.2.251」になります。</p>
サブネットマスク	<p>使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。</p> <p>初期値は「255.255.255.0」です。</p>
DHCP 範囲	<p>DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付けるIP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIP アドレスが自動的に割り当てられます。</p> <p>接続端末の表示 をクリックすると、接続中の端末のIP アドレス一覧が別ウィンドウで表示されます。</p> <p>初期値は「192.168.1.100～192.168.1.200」です。</p>
DHCP リース時間	<p>DHCP サーバーが割り当てるIP アドレスの有効時間を入力します。1～10080分の範囲で設定できます。初期値は「480」です。</p>
固定DHCP	<p>固定DHCPの設定 をクリックすることで、クライアントのMAC アドレスと指定したいIP アドレスを関連付けて登録することができます。設定方法についてはP72「固定DHCP設定画面」をお読みください。</p>

固定 DHCP 設定画面

DHCP サーバー機能により、クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定の IP アドレスを割り当てたい場合があります。クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから [インターネット設定] → [LAN 設定] を選択し、[固定 DHCP の設定] をクリックします。

固定 DHCP 設定

特定の端末に固有の IP アドレスを設定できます。登録できる端末数は、最大 20 です。

固定 DHCP の有効

IP アドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MAC アドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大 19 文字)

固定 DHCP リスト:

IP アドレス	MAC アドレス	コメント	選択

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● 入力・設定画面の内容

固定 DHCP の有効	この項目をチェックしている場合に、固定 DHCP リストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていても IP アドレスは固定されません。
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

● 固定 DHCP リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックしたあと、 <input type="button" value="今すぐ再起動する"/> をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックしたあと、 <input type="button" value="今すぐ再起動する"/> をクリックします。

固定 DHCP の設定方法

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末数は、最大20です。

固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字)

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択

- ① 「固定DHCPの有効」をチェックします。
- ② クライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.100
- ③ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 0090fe0123ab
- ④ 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- ⑤ をクリックすると「正常に設定を変更しました！」と表示されます。
- ⑥ 登録するクライアントを追加する場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

WAN 設定画面

ルーターモードのときにのみ表示される画面です。

MEMO

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WAN アクセスタイプ]で、DHCP・PPPoE・固定IPの選択したタイプによって、設定画面が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]→[WAN 設定]を選択します。

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ DHCP ▼

ホスト名: (最大 30 文字)

MTUサイズ: (1400-1500 バイト)

DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー:

[接続中のPCからMACアドレスをコピー]

UPnPを有効にする。
 WAN側からのpingに対する応答を有効にする。
 IPv6ブリッジを有効にする。

●「DHCP」を選択した場合 ※画面イメージは上記参照

ホスト名	必要に応じて自由にホスト名を入力できます。
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1400～1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS サーバーの設定	<p>●DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する</p> <p>プロバイダーより自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。</p> <p>●次のDNSサーバーを使用する</p> <p>プロバイダーからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2～3個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。</p>

MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。 [コピー] をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンのMACアドレスをコピーして入力します。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
WAN経由でのping実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などでWAN側からpingに本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値：無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [後で再起動する] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [今すぐ再起動する] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: PPPoE ▾

ユーザー名: (最大 57 文字)

パスワード: (最大 57 文字)

サービス名: (最大 40 文字)

MTUサイズ: (1400-1492 バイト)

DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー:

[コピー] [接続中のPCからMACアドレスをコピー]

UPnPを有効にする。
 WAN側からのpingに対する応答を有効にする。
 IPv6ブリッジを有効にする。

[適用]

ユーザー名	<p>プロバイダーより提供されたユーザー名を入力します。ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。</p> <p>(例) userID123@elecom.net ユーザー名 プロバイダー識別子</p>
パスワード	プロバイダーより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダー名などの名称を入力できます。
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1360～1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1454)
DNS サーバーの設定	<p>● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する プロバイダーより自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。</p> <p>● 次のDNSサーバーを使用する プロバイダーからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2～3個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。</p>
MAC アドレスコピー	<p>インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。</p> <p><input type="button" value="コピー"/> をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンのMACアドレスをコピーして入力します。</p>
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値:無効)
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などでWAN側からpingに本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値:無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値:有効)。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定 IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: 固定IP ▾

固定IP:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

MTUサイズ: (1400-1500 バイト)

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー:

[接続中のPCからMACアドレスをコピー]

UPnPを有効にする。

WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

IPv6 ブリッジを有効にする。

固定 IP	プロバイダーから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1400 ~ 1500) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS 1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個ある場合は、こちらにセカンダリ DNS のアドレスを入力します。
DNS 3	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 3 個ある場合は、こちらにセカンダリ DNS のアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使用します。 <input type="button" value="コピー"/> をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 無効)
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値: 無効)

IPv6ブリッジを有効にする

プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。

MEMO**設定を変更した場合**

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **後で再起動する** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **今すぐ再起動する** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

7 システム設定

ステータス画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ステータス]を選択します。

ステータス	
本製品のシステム情報を表示します。	
システム	
稼働時間	0日0時8分55秒
ファームウェアバージョン	v1.00
動作モード	ルーターモード
現在時刻	2015年10月2日 16時32分00秒
WAN設定	
IPアドレス	192.168.1.16
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.100
MACアドレス	XXXXXXXXXX
LAN設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	XXXXXXXXXX
無線設定 (2.4G SSID)	
SSID	elecom2g-1d0517
チャンネル	4ch
暗号化	WPA2
BSSID	XXXXXXXXXX
接続端末台数	1
無線設定 (5G SSID)	
SSID	elecom5g-1d0517
チャンネル	44ch
暗号化	WPA2
BSSID	XXXXXXXXXX
接続端末台数	0

●システム

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在の通信モードを表示します。本製品では、アクセスポイントモードとルーターモードが選択できます。

●WAN 設定

●(ルーターモード時のみ表示)

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスを表示します。

●LAN 設定

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP 機能の状態を表示します。
MAC アドレス	本製品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

●2GHz 無線設定 (1st SSID)

●(2.4GHz 周波数帯通信が有効な場合に表示)

SSID	現在使用中の SSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	この SSID に接続している無線子機の数です。

●2GHz 無線設定 (2nd SSID)

●(2.4GHz 周波数帯通信が有効な場合に表示) (マルチ SSID 設定時のみ表示)

SSID	現在使用中のマルチ SSID の SSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	この SSID に接続している無線子機の数です。

●5GHz 無線設定 (1st SSID)

●(5GHz 周波数帯通信が有効な場合に表示)

SSID	現在使用中のSSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	このSSID に接続している無線子機の数です。

●5GHz 無線設定 (2nd SSID)

●(5GHz 周波数帯通信が有効な場合に表示) (マルチ SSID 設定時のみ表示)

SSID	現在使用中のマルチ SSID のSSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	このSSID に接続している無線子機の数です。

ファームウェア更新画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアをアップデートすることで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。ファームウェアのアップデートの方法は2種類あります。

ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

自動更新	弊社Webサイト上に最新のファームウェアがあると、検知から24時間後または設定した時刻に、自動的にアップデートします。
手動更新	オンラインまたはダウンロードしたbinファイルを使って、設定ユーティリティの「手動更新(アップデート)」機能による更新ができます。



- ファームウェアのダウンロードとアップデートは、必ずパソコンでおこなってください。スマートフォンやタブレット、Wi-Fiゲーム機などからは更新できません。
- パソコンと本製品のLANポートを有線LANで接続した状態で、ダウンロードとアップデートをおこなってください。パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- アップデートするファームウェアは、必ず本製品のものを使用してください。本製品以外のファームウェアを使ってアップデートすると、本製品が故障する恐れがあります。

最新ファームウェアの自動更新機能

本製品にはファームウェアを自動的に更新できる「ファームウェアの自動更新機能」があります。エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、検知から24時間後または設定した時刻に、本製品は自動的にファームウェアをアップデートするようになっています。これにより、常に最新の状態で本製品をご使用いただけるようになります。

**注意**

アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

ファームウェアを自動更新するには、〈自動更新(アップデート)〉画面で自動更新を有効にしておく必要があります。設定方法については、次ページの「ファームウェアの自動更新を有効にする」をお読みください。

MEMO

- 自動アップデートは、本製品の電源が入った状態で、インターネットに接続する必要があります。
- インターネットをご使用中は、更新作業は始まりません。
- 初期設定では、午前3時に自動的に更新します。また、自動更新の開始時間を設定することもできます。(→P96「ファームウェア自動更新の時間設定」)
- 通知機能を設定することで、更新ファイルがある場合にブラウザによる通知を行うことができます。(→P95「ファームウェア自動更新の通知設定」)

ファームウェアの自動更新を有効にする

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)

ファームウェアを自動的に更新する機能についての設定を行います。

- ・有効： 更新ファイルがある場合、LEDランプなどによる通知を行います。また、自動更新を行うための各種設定を行うことができます。
- ・無効： 更新ファイルがある場合でも、LEDランプなどによる通知を行いません。本管理画面の『手動アップデート』設定より、ファームウェアの更新(アップデート)を行うことができます。

有効 無効

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]を選択します。
- ② [有効]を選択し、をクリックします。
- ③ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。をクリックします。
 - ・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

ファームウェア自動更新の通知設定

エレクトロム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、ご使用のインターネットブラウザを開いたときに、通知する/しないを設定することができます。

[有効]を選択すると、ファームウェアをアップデートするか案内の画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作することで、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

[無効]を選択すると、ブラウザによる通知画面が表示されず、自動的にアップデートを行います。

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)通知設定

更新ファイルがある場合、ブラウザを開いた時に通知を行うかどうかを設定します。

- 有効: ブラウザによる通知を行います。
 通知メッセージに従って操作することで、ファームウェアのアップデートを行うことができます。
- 無効: ブラウザによる通知を行わず、自動的にファームウェアアップデートを行います。
 ファームウェアアップデート中は、通知LEDランプが自動的に点滅しますが、この時、ルータの電源を絶対にOFFしないでください。

有効 無効



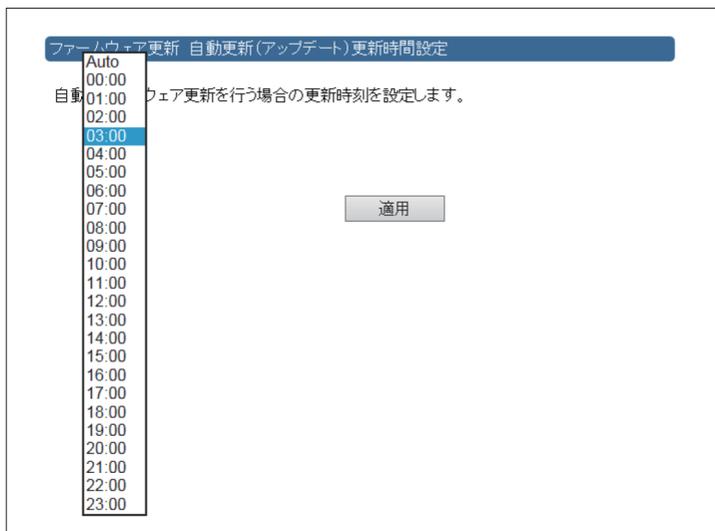
注意

アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]→[通知設定]を選択します。
- ② [有効]または[無効]を選択し、適用をクリックします。
- ③ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。更新をクリックします。
 - ・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

ファームウェア自動更新の時間設定

「ファームウェアの自動更新の通知設定」を[無効]に設定した時は、エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、午前3時(初期値:[03:00])に自動的に更新します。また、自動更新の開始時間を設定することもできます。



- 1 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]→[更新時間設定]を選択します。
- 2 更新開始時間を選択します。初期値は[03:00(午前3時に自動更新)]です。
- 3 **適用** をクリックします。
- 4 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新** をクリックします。
 - ・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

手動でファームウェアを更新する

自動更新機能を使わずに手動でファームウェアを更新することもできます。ファームウェアをダウンロードせずにオンラインで更新する方法と、ファームウェアをダウンロードして更新する方法があります。

オンラインでの更新

エレクトロム・ホームページ上にあるファームウェアをダウンロードすることなく、オンラインで更新することができます。ファームウェアをダウンロードする必要がなく簡単に更新できます。

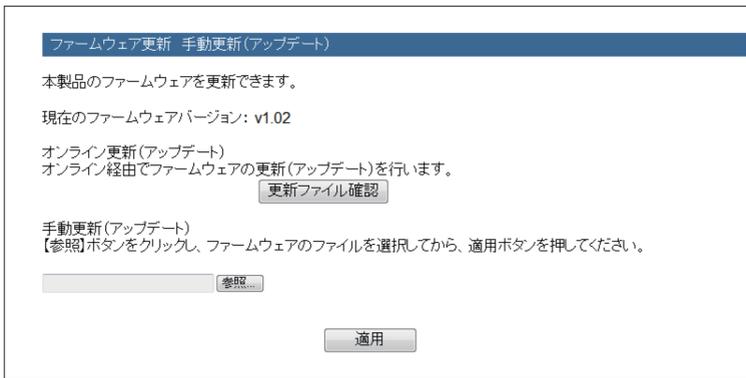


注意

通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、「**手動更新(アップデート)**」で更新することをお勧めします。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



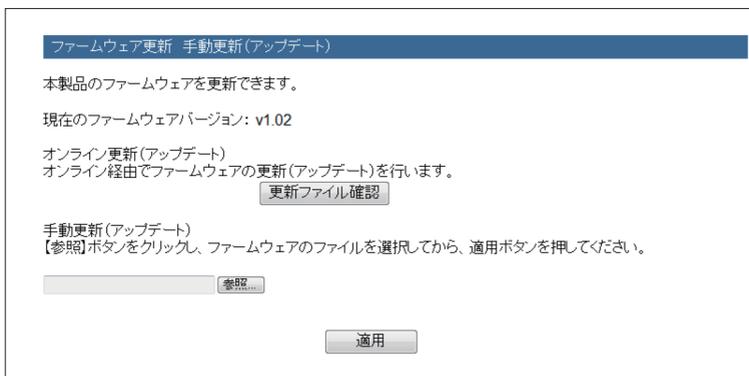
- ① [オンライン更新(アップデート)]で **更新ファイル確認** をクリックします。
- ② 最新のファームウェアがあるかメッセージが表示されます。最新ファームウェアがある場合は、**更新する** をクリックします。
 - ・すでに最新の場合は、**戻る** をクリックします。
- ③ 案内メッセージが表示されます。**OK** をクリックします。
- ④ 更新作業が始まります。**更新が完了するまで、本製品の電源をオフにしないでください。**
- ⑤ 正常にアップデートが完了すると、設定ユーティリティへのログイン画面が表示されます。
- ⑥ 「FWのアップデートが完了しました!!」と表示されます。Webブラウザ画面を閉じます。

ダウンロードしたファームウェアを使った更新

ダウンロードしたファームウェアを、「手動更新(アップデート)」機能を使って更新します。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



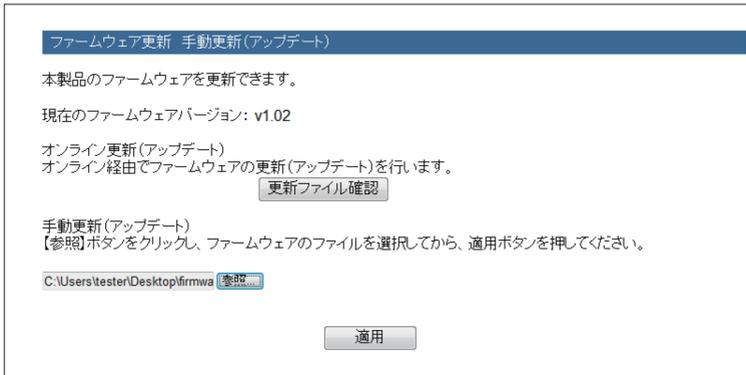
- 1 パソコンと本製品を有線LANで接続します。
 - ・ パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- 2 インターネットに接続します。
- 3 エレコムWebサイト「<http://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- 4 [ダウンロード]をクリックします。
- 5 [型番で検索]で型番を入力し、[検索]をクリックします。
- 6 本製品向けにダウンロード可能な内容が表示されますので、ファームウェアを選びます。
- 7 説明に従ってダウンロードします。
 - ・ ダウンロード前に注意事項などがいないかダウンロードページでご確認ください。
 - ・ ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。
- 8 このあと「Windowsでのアップデート手順」または「Macでのアップデート手順」をお読みください。

■ Windows でのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① ダウンロードした圧縮ファイルのアイコン(電子レンジ型)をダブルクリックします。
- ② メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
- ③ <ファームウェア更新 手動更新(アップデート)>画面で、**参照**をクリックします。(P110「画面の表示」参照)。



- ④ <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、解凍したファイルを指定し、**開く**をクリックします。
- ⑤ **アップロードする**をクリックします。
- ⑥ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。
- ⑦ 「ファームウェア更新中。」と表示され、アップデートが開始します。
 - ・ アップデートが完了するまで、絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ⑧ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
 - ・ 新しいファームウェアで動作するようになります。

MEMO

エラー画面が表示された場合

本製品の電源ケーブル(ACアダプタ)を抜き差しして電源を入れ直してください。

■ Mac でのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

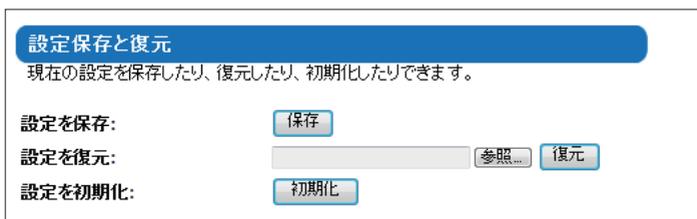
- 1 ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP形式)を解凍します。
 - ・メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
 - ・ご使用の環境によっては、解凍作業が不要な場合があります。
- 2 このあとは、「Windows でのアップデート手順」の手順③～④を実行します。

設定保存と復元画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[設定保存と復元]を選択します。



設定の保存方法



- 1 [設定の保存]の「保存」をクリックします。
- 2 <ファイルのダウンロード>画面が表示されますので、「保存」をクリックします。
- 3 <名前を付けて保存>画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、「保存」をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。

設定の復元方法

設定を復元:

sktop\wrh583xx2\config.dat

- 1 [設定を復元]の をクリックします。
- 2 <ファイルの選択>画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- 3 をクリックします。
- 4 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
- 5 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

設定を初期化(工場出荷時の状態)する

本製品の設定を初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

設定を初期化:

- 1 [設定を初期化]の をクリックします。
- 2 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので をクリックします。
- 3 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
- 4 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定 / 変更します。

画面の
表示

画面左のメニューリストから [システム設定] → [パスワード設定] を選択します。

パスワード設定

本製品の管理画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを変更できます。
 ※ 半角英数字 (a~z, 0~9) で設定して下さい
 ※ より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

ユーザー名: (最大30文字)

現在のパスワード:

新パスワード: (最大30文字)

新パスワードの確認:



注意

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- ① [ユーザー名]に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- ② [現在のパスワード]に、現在設定しているパスワードを入力します。
- ③ [新パスワード]に、新しく設定するパスワードを入力します。
- ④ [新パスワードの確認]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- ⑤ をクリックします。
- ⑥ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
- ⑦ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、 をクリックします。
 - ・ 設定ユーティリティのトップ画面が表示されます。

Appendix

付録編

1

こんなときは

MEMO

本製品に付属の「設定手順書②」の「こんなときには」もご参照ください。

無線LAN 関係のトラブル

●無線LAN がつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？

プロトコル(TCP/IP など)、クライアント(Microsoft Network クライアントなど)、サービス(Microsoft Network 共有サービスなど)を環境に応じて設定する必要があります。

②ルーターなどのDHCP サーバー機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMAC アドレスフィルタリング設定は正しいですか？

セキュリティ設定は、無線LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MAC アドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LAN に接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつかない。

- ①セキュリティ設定は、同じ無線LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。
 - ②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりしますまた、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。
- ◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。
- ③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつかない。

- ①WPS ランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。
- ②入力したPIN コードが誤っていることがあります。再度PIN コードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

- ①TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。
- ②DHCP サーバー機能を使用していない場合は、IP アドレスを手動で割り当ててください。
TCP/IPのプロパティにある〈IP アドレス〉タブで設定します。
- ③TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダーによって、IP アドレスを自動取得する場合と固定IP アドレスを指定する場合があります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。
- ④プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IP アドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンターの共有ができない。

- ①ネットワーク設定をしましたか？
無線LAN が正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンターの共有はできません。

2

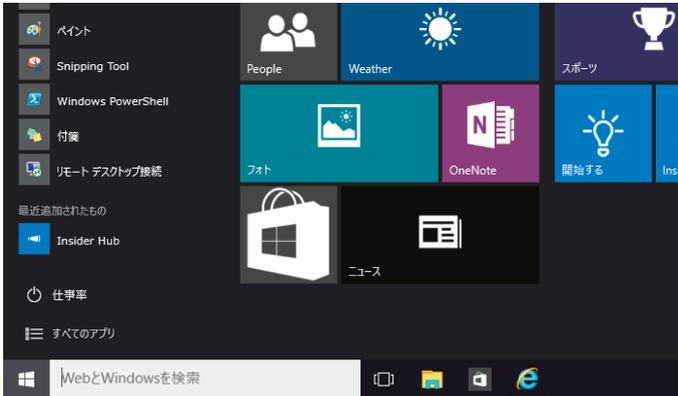
パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 10の場合

- 1 [スタート]→[Windows PowerShell]をクリックします。



- 2 <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプター イーサネット[※]」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプター イーサネット:  
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :  
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::f8b4:19f9:1c99:e832%4  
IPv4 アドレス . . . . . : 10.0.2.15  
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0  
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 10.0.2.2
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

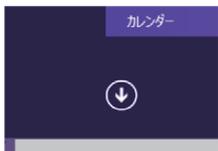
- ⑤ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIP アドレスの内容については、P112「3. 主な仕様と工場出荷時の設定」をお読みください。

Windows 8.1/8 の場合

- ① ご使用のOSのバージョンにあわせて操作します。

■ Windows 8.1 の場合

スタート画面の左下にある下矢印をクリックします。



■ Windows 8 の場合

- ① スタート画面で画面の背景部分を右クリックします。
タッチパネルの場合は、画面下から内側へスワイプさせます。
② 画面下に現れた「すべてのアプリ」をクリックします。



- ② アプリの一覧から[コマンドプロンプト]をクリックします。



- 3 <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥Master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- 4 「イーサネット アダプター イーサネット[※]」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

```
イーサネット アダプター イーサネット:

接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
IPv6 アドレス . . . . .:0000:a000:00e0:0:200c:af00:0000:0000
一時 IPv6 アドレス . . . . .:0000:a000:00e0:0:200c:af00:aa0:0000
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .:fe00::2000:af00:900d:0000%12
IPv4 アドレス . . . . .:192.168.2.101
サブネット マスク . . . . .:255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .:fe00::200:a2f0:fe0d:ab0e%12
192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- 5 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P112「3. 主な仕様と工場出荷時の設定」をお読みください。

Windows 7/Vista の場合 ※画面は Windows Vista の例です。

- 1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- 2 くコマンドプロンプト画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]  
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.  
C:\Users\master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- 3 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続※」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

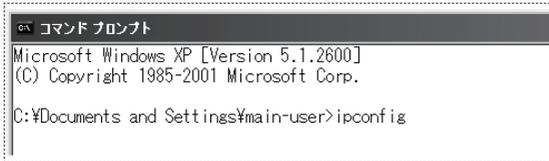
```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:  
  
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :  
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8  
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100  
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0  
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- 4 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P112「3. 主な仕様と工場出荷時の設定」をお読みください。

Windows XP の場合

- 1 [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- 2 くコマンドプロンプト画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

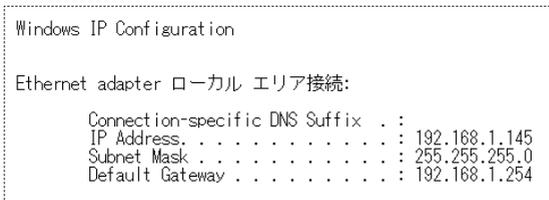


```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings\main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- 3 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続^{*}」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。



```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.1.145
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- 4 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P112「3.主な仕様と工場出荷時の設定」をお読みください。

3

主な仕様と工場出荷時の設定

主な仕様

無線 LAN 規格	IEEE802.11ac (5GHz 帯) / IEEE802.11n (2.4/5GHz 帯) / IEEE802.11a (5GHz 帯) / IEEE802.11g (2.4GHz 帯) / IEEE802.11b (2.4GHz 帯)
チャンネル	2.4GHz 帯：Auto/1～13ch 5GHz 帯：[W52] 36、40、44、48ch、 [W53] 52、56、60、64ch、 [W56] 100、104、108、112、116、120、124、128、 132、136、140ch
データ転送速度(理論値)	11ac：最大433Mbps、 11a：最大54Mbps、 11n (5GHz)：最大150Mbps、 11n (2.4GHz)：最大150Mbps、 11g：最大54Mbps、 11b：最大11Mbps、
セキュリティ	SSID ステルス、マルチ SSID (最大登録数2件)、 MAC アドレスフィルタリング、 SSID セパレーター (AP モード時無効)、 ブライバシーセパレーター
暗号化方式	無効(暗号なし)、WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (TKIP/AES)、 WPA/WPA2 Mixed (TKIP/AES)、WEP (64bit/128bit)、
有線 LAN 規格	WAN：IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T) LAN：IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T)
コネクタ	WAN：RJ-45 × 1 ポート LAN：RJ-45 × 1 ポート ※いずれも Auto MDI/MDI-x に対応
消費電流(定格)	約 2.1 W
動作温度 / 動作湿度	0 ～ 40℃ / 10 ～ 90% (結露無きこと)
外形寸法	幅 35mm × 奥行 65mm × 高さ 20.5 mm
質量	約 45 g (AC アダプター含まず)

※本製品はポート転送、DMZ、DDNS の機能は搭載しておりません。また、フレッツ光ネクストの NGNIPv4 サービス(サービス情報サイトやウイルスクリア等)には対応しておりません。

設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログオン時の ユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin
-----------------------	----------------------------

有線LAN 関係の工場出荷時の設定値 (初期値)

LAN 側 IP アドレス	192.168.2.1 (ルーターモード) (初期値) 192.168.2.251 (アクセスポイント/子機/中継器モード)
---------------	---

無線LAN 関係の工場出荷時の設定値 (初期値)

SSID	elecom2g-xxxxxx (2.4GHz 接続用) ※ 1 elecom5g-xxxxxx (5GHz 接続用) ※ 1
暗号化	WPA/WPA2 プレシエード ※ 2
暗号キー	付属の「設定情報シート」に記載
暗号キーフォーマット	パスフレーズ

※ 1 xxxxxx は、0～9、a～fのランダムな英数字です。

※ 2 無線アダプター側の設定では、**WPA2-AES** を選択してください。

ELECOM

11ac対応快速無線LAN ポータブルルーター
WRH-583xx2シリーズ
詳細説明書

発行 エレコム株式会社 2015年10月9日 第1版